

令和3年度

事業実績報告書

目次

1. 令和3年度事業計画書（重点目標）の報告	3
-------------------------------------	---

2. 実施事業

— 総務係 —

(1) 法人運営事業	4
(2) 社協会員加入促進事及び自主財源促進事業	
① 会員加入事業	5
② 社会貢献型自動販売機設置事業	6
(3) 広報啓発事業	7
(4) 沖縄市社会福祉大会事業	8
(5) 沖縄市福祉まつり事業	9
(6) 社会福祉実習生受け入れ事業	10
(7) 団体助成事業	11
(8) 福祉サービス苦情解決事業	12
(9) MASプラン第3次基本計画の点検と理念の啓発	13
(10) 沖縄県共同募金会沖縄市共同募金委員会の設置・運営	
① 赤い羽根共同募金運動	14
② 歳末たすけあい運動及び歳末たすけあい義援金支給事業	15

— 地域福祉係 —

(11) 地域見守りネットワーク事業	16
(12) こどもの未来応援事業	17
(13) 共生のまちづくりモデル事業	18
(14) フードバンク事業	
① ひとり一品食料寄付運動	19
② 新型コロナウイルス関連フードバンク支援事業（新規事業）	20
(15) 法外援護事業（権利擁護係連携実施）	21

(16) 沖縄市ふれあいのまちづくり事業	22
(17) 災害時要支援者支援体制整備業務	23
(18) 防災・減災「地域力強化」支援事業	24
(19) 沖縄市ボランティア事業	
①ボランティアセンター運営事業	25
②ボランティア登録・あっせん事業	26
③福祉・ボランティア人材養成事業	27
④特別清掃物件支援モデル事業「リスタート事業」	28
⑤福祉的要配慮者風水災害ボランティアセンター設置事業	29
⑥住民参加型在宅福祉サービス事業	30
(20) 沖縄市障がい者社会参加促進事業	
①手話奉仕員養成事業	31
②要約筆記者養成事業	32
③意思疎通支援事業	33

— 権利擁護係 —

(21) 生活福祉資金貸付事業	34
(22) 高齢者居住サポートモデル事業	35
(23) 沖縄市法人後見受任事業	36
(24) 沖縄市市民後見推進事業	37
(25) 沖縄市高齢者金銭管理等相談事業	38
(26) 日常生活自立支援事業	39

3. 巻末資料	40
----------------	----

事業の評価	A	B	C	D	E
-------	---	---	---	---	---

【凡例】

- A=計画を上回って進んでいる。
- B=ほぼ計画通りに進んでいる。
- C=遅れている。
- D=事業終了
- E=施策に着手することができなかった。

1. 令和3年度事業計画書（重点目標）の報告

① 相談支援活動の強化

コロナ禍における生活困窮や在宅支援等に関する相談の増加に対応し、相談支援を行った。また、相談を通して、複雑な課題がある世帯に対しては、専門機関への橋渡しを行うなど各種社会資源との連携による支援を行った。

①生活福祉資金相談7,183件 ②食料支援等の相談177件 ③在宅支援等のボランティア相談417件

② アウトリーチ活動による継続的支援

アウトリーチ相談員を設置し2年目となることで市民への活動の認知が進み、これまで潜在していたひきこもり、多問題を抱えた世帯、専門機関とのつながりがなかった世帯等の相談支援が行うことができた。

①相談支援件数 1,268件（内新規相談件数 365件） ②関係機関とのケース会議等の開催 45回

③ コロナ禍における地域福祉活動の支援

コロナ禍においても非接触等の工夫をして、友愛訪問活動など、地域での支え合い活動への支援を行った。また、福祉連絡会の活動を計画的かつ効果的に実施するために、聞き取り調査による「福祉連絡会支援計画シート」を作成した。

企業によるフード等の提供が過去最高件数になるなど、企業の社会貢献活動の支援を行うことが出来た。

地域防災活動の支援については、「自治会・福祉事業所」へ聞き取り調査を実施し、今後の地域防災活動への支援の基礎資料を作成することが出来た。

①地域見守り・地域交流・防災事業等への参加・協力38回 ②企業・団体からのフード等の提供4,667キログラム ③自治会・福祉事業所への防災活動聞き取り調査件数23か所

④ 事務局体制の強化

「沖縄市社会福祉協議会財政健全化委員会」を設置し、社協の財政状況の現状について現状を認識することにより、各委員や職員間で今後の取り組みについての共通認識が図られた。また、毎月2回の職務会議において職員間で各事業の連絡調整や検証等を行い、各係間での連携を強化することにより、細やかな支援が必要な法外援護事業等による支援を円滑に行うことが出来た。

さらに、今後の社協活動の指針となる「地域福祉活動計画」を市と協働で策定し、令和4年度より5か年計画で実施する事とした。

①財政健全化委員の設置及び開催（期日：令和4年2月18日／議題：市区町村社協経営指針と沖縄市社協の現状、沖縄市社協の財政状況、沖縄県内社協の財政状況）②職務会議の開催（毎月2回／計24回） ③法外援護の支援件数 360件

2. 実施事業

事業名 1	(1) 法人運営事業				
事業名 2	社会福祉に関する事業への参画及び協力				
担当課	総務係				
事業の目的	<p>沖縄市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とする。(「定款」第1条より)</p> <p>また社会福祉に関する事業への参画及び協力に努め、公共の福祉の向上や、地域福祉の発展及び推進に寄与する。</p>				
事業の内容	<p>(1) 正副会長会、理事会、評議員会の開催及び監査の実施</p> <p>(2) 係長会議、職務会議、各係内会議の開催</p> <p>(3) 社会福祉に関する事業への参画及び協力</p> <p>(4) 職員研修の実施及び各種研修会への参加</p>				
事業の効果	<p><法人運営事業></p> <p>法人の健全な経営及び福祉事業推進のために各種会議を開催し、ガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等を図ることができた。</p> <p>(1) 正副会長会の開催 2回</p> <p>(2) 理事会の開催 4回</p> <p>(3) 評議員会の開催 3回</p> <p>(4) 評議員選任・解任委員会 1回</p> <p>(5) 監査の実施</p> <p>①法人(監事)監査 1回</p> <p>②顧問税理士監査 月次12回、年次1回</p> <p>(6) 職務会議の開催 24回</p> <p>(7) 各係内会議の開催 随時</p> <p><社会福祉に関する事業への参画及び協力></p> <p>行政機関をはじめ、各種関係機関団体と連絡調整及び関係事業へ参画することにより、組織間の連携・強化が図られ、相互協力体制を構築した。</p> <p>①沖縄市がんじゅう計画策定部会 ②沖縄市高齢者虐待防止ネットワーク委員会 ③沖縄市要保護児童対策地域協議会 ④沖縄市障害者自立支援協議会 ⑤沖縄市個人情報保護審議会 ⑥沖縄市国民健康保険運営協議会 ⑦沖縄市家庭教育担当者連絡会 ⑧沖縄市福祉のまちづくり推進懇話会、⑨沖縄市地域福祉計画策定部会 ⑩沖縄市認知症高齢者あんしん登録事業連絡会 ⑪沖縄市手話奉仕員養成講座運営委員会 ⑫沖縄市コザ十字路周辺地区まちづくりネットワーキング ⑬沖縄市地域包括支援センター運営協議会 ⑭沖縄市認知症初期集中支援チーム検討委員会 ⑮沖縄市包括的支援体制作り連絡会 ⑯沖縄市住宅政策基本計画策定協議会 ⑰沖縄市国土利用計画審議会 ⑱沖縄総合事務局 ⑲NHK ⑳FMコザ</p>				
事業の評価	A	B	C	D	E
備考	※詳細については、P40～P43の巻末資料①に記載。				

事業名 1	(2-①) 社協会員加入促進及び自主財源促進事業				
事業名 2	会員加入促進事業				
担当課	総務係				
事業の目的	本会の趣旨に賛同する会員を募り、自主財源である会費の確保に努める。				
事業の内容	<p>本会の性格、福祉サービスの内容等を理解できるようチラシ等を作成し、市民等へPRする。</p> <p>(1) 一般会員…自治会を通して各世帯へチラシ等を配布し、世帯を対象に会員を募る。会員へは会員証シールを発行。</p> <p>(2) 賛助会員…市役所職員や福祉団体などの個人を対象に会員を募る。会員へは賛助会員カードを発行。</p> <p>※ (1) (2) 共に、特典として福祉用具の貸出を行っている。</p> <p>(3) 特別会員…企業・事業所を対象に会員を募る。特別会員証を発行。社協ホームページへのバナー広告の掲載、機材の貸出を特典とする。</p>				
事業の効果	<p>(1) 一般会費 4,456,880 円 (約 8,913 世帯) 達成率 87.3%</p> <p>(2) 賛助会費 692,500 円 (692 人) 達成率 115.8%</p> <p>(3) 特別会費 1,710,000 円 (160 か所) 達成率 85.5%</p> <p>(4) 車椅子等の福祉用具の貸出：90 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般会員は自治会により、加入世帯数に増減があった。賛助会員は、昨年度比で9名の増となった。 ・特別会員は、9件の新規加入を含め、昨年度を上回る加入があった。 ・会員特典として、『福祉出前講座』を行っている。 ・福祉用具の貸出は、他制度へのつなぎとして活用されている。特別会員においては、研修等に福祉用具の貸出が活用されている。 				
課題	新規会員の開拓と、自治会加入率向上に向けた取り組み。社協事業の広報の強化。				
事業の評価	A	B	C	D	E
備考	※詳細については、P44の巻末資料②に記載。				

事業名 1	(2-②) 社協会員加入促進及び自主財源促進事業																																														
事業名 2	社会貢献型自動販売機設置事業																																														
担当課	総務係																																														
事業の目的	市民が気軽に社協の地域福祉活動に参加できる機会として、自動販売機の売り上げの一部を寄付できる「社会貢献型自動販売機」を設置する。																																														
事業の内容	アサヒオリオン飲料株式会社と自販機設置主と協働で実施。設置主(個人・事業所)が社会貢献の一環として自動販売機を設置、売り上げの一部または全部が当協議会へ寄付として入る仕組み。																																														
事業の効果	設置延台数：23台(新規1台/解約5台) 合計：102,988円																																														
	1. アサヒオリオン飲料株式会社 小計 83,308円																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設置先</th> <th>住所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ステップワン</td> <td>宮里</td> </tr> <tr> <td>スクールサイドサンフラワー</td> <td>桃原</td> </tr> <tr> <td>森田好美</td> <td>美原</td> </tr> <tr> <td>カスタム ライダーズ ショップ雅</td> <td>山里</td> </tr> <tr> <td>ヘルパーステーション きじむな～</td> <td>高原</td> </tr> <tr> <td>(医) 真愛会 伊佐整形外科</td> <td>比屋根</td> </tr> <tr> <td>NPO 法人 SUNS'コミュニティ「Life 高原」</td> <td>高原</td> </tr> <tr> <td>NPO 法人 SUNS'コミュニティ</td> <td>高原</td> </tr> <tr> <td>介護サービスセンター桃原</td> <td>桃原</td> </tr> <tr> <td>(福) 沖縄にじの会 特別養護老人ホーム 知花の里</td> <td>知花</td> </tr> <tr> <td>学習支援ひろば くじら寺子屋</td> <td>海邦</td> </tr> <tr> <td>沖縄市山里自治会</td> <td>山里</td> </tr> <tr> <td>高齢者協同住宅 ハウス桃園</td> <td>山里</td> </tr> <tr> <td>沖縄市東自治会</td> <td>東</td> </tr> <tr> <td>AO/カーリヤーズ(新規)</td> <td>泡瀬</td> </tr> <tr> <td>中部電気工事業協同組合</td> <td>うるま市</td> </tr> <tr> <td>沖縄市美里自治会</td> <td>美里</td> </tr> <tr> <td>(医) 光和会 山里整形外科</td> <td>山里</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム 森城</td> <td>諸見里</td> </tr> <tr> <td>有料老人ホーム竹園</td> <td>諸見里</td> </tr> </tbody> </table>					設置先	住所	ステップワン	宮里	スクールサイドサンフラワー	桃原	森田好美	美原	カスタム ライダーズ ショップ雅	山里	ヘルパーステーション きじむな～	高原	(医) 真愛会 伊佐整形外科	比屋根	NPO 法人 SUNS'コミュニティ「Life 高原」	高原	NPO 法人 SUNS'コミュニティ	高原	介護サービスセンター桃原	桃原	(福) 沖縄にじの会 特別養護老人ホーム 知花の里	知花	学習支援ひろば くじら寺子屋	海邦	沖縄市山里自治会	山里	高齢者協同住宅 ハウス桃園	山里	沖縄市東自治会	東	AO/カーリヤーズ(新規)	泡瀬	中部電気工事業協同組合	うるま市	沖縄市美里自治会	美里	(医) 光和会 山里整形外科	山里	特別養護老人ホーム 森城	諸見里	有料老人ホーム竹園	諸見里
	設置先	住所																																													
	ステップワン	宮里																																													
	スクールサイドサンフラワー	桃原																																													
	森田好美	美原																																													
	カスタム ライダーズ ショップ雅	山里																																													
	ヘルパーステーション きじむな～	高原																																													
	(医) 真愛会 伊佐整形外科	比屋根																																													
	NPO 法人 SUNS'コミュニティ「Life 高原」	高原																																													
	NPO 法人 SUNS'コミュニティ	高原																																													
	介護サービスセンター桃原	桃原																																													
	(福) 沖縄にじの会 特別養護老人ホーム 知花の里	知花																																													
	学習支援ひろば くじら寺子屋	海邦																																													
	沖縄市山里自治会	山里																																													
	高齢者協同住宅 ハウス桃園	山里																																													
	沖縄市東自治会	東																																													
	AO/カーリヤーズ(新規)	泡瀬																																													
	中部電気工事業協同組合	うるま市																																													
	沖縄市美里自治会	美里																																													
	(医) 光和会 山里整形外科	山里																																													
	特別養護老人ホーム 森城	諸見里																																													
有料老人ホーム竹園	諸見里																																														
2. 設置主より売上を全額寄付 小計 19,680円																																															
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>喜友名曜一</td> <td>2台設置</td> <td>海邦・桃原</td> </tr> </tbody> </table>					喜友名曜一	2台設置	海邦・桃原																																								
喜友名曜一	2台設置	海邦・桃原																																													
課題	設置場所の新規開拓と解約内容の精査。																																														
事業の評価	A	B	<input checked="" type="radio"/> C	D	E																																										
備考																																															

事業名 1	(3) 広報啓発事業				
事業名 2					
担当課	総務係				
事業の目的	広報紙「社協だより」やホームページ等での情報提供により、本会事業や福祉についての関心と理解を高める。				
事業の内容	<p>(1)「社協だより」の発行 2回 第 64 号、第 65 号 (10 月、3 月) を発行し、事業実績報告、赤い羽根共同募金の実施状況などの報告を中心に、幅広い世代の市民に向けて発信した。</p> <p>① 発行部数：10 月…40,000 部、 3 月…40,780 部 ② 配布先：沖縄市内各世帯 (自治会を通して配布)、市役所、その他関係機関</p> <p>(2)ホームページの運営及び各種ソーシャルネットワーキングサービス (SNS) の活用 ホームページにて、社協や関係団体の情報を発信した。また、Facebook や Twitter 等のサービスを活用し、広く市民への情報提供を行った。</p> <p>①ホームページ閲覧回数：269,644 回</p> <p>(3) 各種事業の広報チラシの作成 随時作成・配布 (4) FM コザ「社協アワー」での社協事業や地域福祉活動の紹介 毎週木曜日/午前 9 時 30 分～午前 9 時 45 分</p>				
事業の効果	<p>市民に読みやすく親しみやすい広報紙やチラシを作成することで、当会及び各事業の周知ができた。</p> <p>また、Facebook 等の更新を常時行い、最新の情報を提供することで、一般市民への事業の広報ができた。</p> <p>さらに、コミュニティ放送局 FM コザの番組「社協アワー」へ社協職員が毎週出演し、社協事業等の広報活動を行った。各係が持ち回りで出演することで、社協全体の事業の PR が出来た。</p> <p>Facebook 閲覧数 5,953 回</p>				
課題	LINE や動画サイトなど SNS 及び、マスメディアを活用した広報・PR 活動の強化を図り、社協の周知を図る。				
事業の評価	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D	E
備考					

事業名 1	(4) 沖縄市社会福祉大会事業				
事業名 2					
担当課	総務係				
事業の目的	沖縄市の地域福祉の向上に寄与された方々を表彰し、その功績を称え ると共に、市民や関係団体が協力して今後の地域福祉における取り組み の一層の推進を目指す。				
事業の内容	<p>(1) 表彰委員会の開催 期日：令和3年12月27日(月)午後3時 場所：沖縄市社会福祉センター集会室</p> <p>(2) 第37回・38回沖縄市社会福祉大会の開催(新型コロナウイルス 感染拡大のため中止) 期日：令和4年1月20日(木) 13時30分開会 会場：沖縄市民小劇場あしびなー</p> <p>①第37回表彰・感謝状贈呈被表彰者 計34件(団体含む) 特別功労者 28件(団体含む) 社会福祉事業永年勤続功労者 5件 優良社会福祉団体 該当者なし 模範自立者 1件</p> <p>②第38回表彰・感謝状贈呈被表彰者 計52件(団体含む) 特別功労者 28件(団体含む) 社会福祉事業永年勤続功労者 21件 優良社会福祉団体 2件 模範自立者 該当者なし</p> <p>(3) 大会冊子の制作 150部 被表彰者、推薦団体、理事・評議員等へ配付</p>				
事業の効果	<p>表彰式典が中止となったため、被表彰者へ表彰状及び感謝状は直接の 配送または郵送で対応した。 直接の配送については、被表彰者から活動の励みとなったとの言葉が 寄せられ、継続的な地域福祉活動や奉仕活動につながっている。</p>				
課題	コロナ禍における開催内容の検討。				
事業の評価	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D	E
備考					

事業名 1	(5) 沖縄市福祉まつり事業				
事業名 2					
担当課	総務係 (全職員担当)				
事業の目的	<p>沖縄市における福祉団体が相互理解のもとに連帯・協力を深め、まつりを通して市民総ぐるみで福祉のまちづくりを推進するとともに地域福祉の増進を図る。</p>				
事業の内容	<p>※新型コロナウイルス感染拡大の影響により福祉まつりは中止。内容を変更し、下記の事業を実施した。</p> <p>(1) 沖縄市福祉まつりホームページの制作、公開 (2) ホームページ制作委員会の開催 (社協、沖縄市障がい者基幹相談支援センター、ホームページ制作業者間による個別開催)</p>				
事業の効果	<p>福祉まつりホームページにより、市内障がい者就労支援事業所の紹介を行った。今後は、高齢や児童関係の施設・事業所等の紹介などを行った。</p> <p>ホームページアドレス : https://okicity-fukushimatsuri.com/</p>				
課題	コロナ禍における開催内容の検討。				
事業の評価	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D	E
備考					

事業名 1	(6) 社会福祉実習生受け入れ事業				
事業名 2					
担当課	総務係				
事業の目的	実習生に対し、実習をとおして相談援助技術等を学ぶ場を提供することで、社会福祉の増進及び人材育成に寄与する。				
事業の内容	<p>(1) 社会福祉相談援助実習生の受け入れ 「社会福祉士相談援助実習受入に関する要綱」を策定し、実習を希望する学生を受け入れる。</p> <p>(2) その他福祉現場実習生の受け入れ 必要に応じて本会事業等の説明を行う。</p>				
事業の効果	<p>学生の実習テーマや達成課題に沿うよう実習プログラムを組み、各種福祉現場実習生の受入を行った。</p> <p>1. 社会福祉相談援助実習 日時：令和3年8月10日～9月13日（計186時間） 対象：沖縄国際大学：1名</p>				
課題	社会福祉相談援助実習以外の実習を受入するシステム作りと社会福祉士実習指導者の育成。				
事業の評価	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D	E
備考					

事業名 1	(7) 団体助成事業				
事業名 2					
担当課	総務係				
事業の目的	沖縄市において社会福祉事業を行うことを目的とする団体に対して助成し、その団体の育成と地域福祉の向上を図ることを目的とする。				
事業の内容	<p>(1) 原則として（社会福祉法人や NPO 法人等の法人格を有しない）任意団体へ社会福祉に関する事業に対して助成。</p> <p>(2) 助成金は、毎年度予算の範囲内において助成し、赤い羽根共同募金配分金を充てる。</p>				
事業の効果	<p>沖縄県共同募金会から当会への配分金額 6,363,672 円のうち、1,955,500 円を 10 団体（11 事業）と 421,000 円を 38 自治会へ地域福祉活動費として助成。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、中止または事業縮小となり申請取り下げ（返金）となった事業もあった。</p> <p>申請取り下げ：3 件</p>				
課題	受配団体の選別方法（新規助成先の開拓）、受配団体の共同募金運動への参加依頼の強化。				
事業の評価	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D	E
備考	※詳細については、P45 の巻末資料③に記載。				

事業名 1	(8) 福祉サービス苦情解決事業				
事業名 2					
担当課	総務係				
事業の目的	<p>当会が提供するサービスに関する苦情への適切な対応を行うとともに、利用者の満足度を高めることを目的とする。</p>				
事業の内容	<p>職員に、苦情解決責任者 1 名と苦情受付担当者 2 名を配置。また、利用者の立場及び特性に配慮した適切な対応を推進するために、第三者委員 2 名を配属。窓口に意見箱を設置し、苦情相談窓口のポスターを貼り、啓発する。</p> <p>苦情などの申し出があった場合は、責任者または第三者委員へ報告し適切な対応を行う。</p>				
事業の効果	<p>(1) 第三者委員：2 名（男女）へ委嘱 (2) 苦情解決責任者：1 名（事務局長） (3) 苦情受付担当者：1 名（総務係職員）を配置 (4) 苦情申込方法：①窓口に意見箱を設置 ②電話、メール、FAX にて受付 (5) 苦情受付件数：0 件</p> <p>※当会への苦情受付は 0 件だったが、他の福祉団体への苦情の相談が 3 件あり、いずれも県福祉サービス運営適正化委員会を紹介するなどの対応を行った。</p> <p>(6) 研修会への参加 「福祉サービスに関する苦情解決セミナー」（ZOOM 研修） 期日：令和 3 年 9 月 3 0 日（木） 参加者：苦情受付担当者 1 名</p>				
課題	苦情受付時の対応マニュアルの作成。				
事業の評価	A	B	<input checked="" type="checkbox"/> C	D	E
備考					

事業名 1	(9) MAS プラン第 3 次基本計画の点検と理念の啓発				
事業名 2					
担当課	総務係 (全職員担当)				
事業の目的	<p>沖縄市社協強化・発展計画第 3 次基本計画の進捗状況の確認・点検を行いつつ、計画の推進を目指す。</p> <p>また、第 4 次基本計画策定に向けた職員会議を定期的実施するとともに資料収集に努める。</p> <p>加えて島マスの福祉哲学並びに当該基本理念「チムグリサンの風土づくり」の啓発に努める。</p>				
事業の内容	令和 3 年度で終了した本計画の事務局内での事業の評価と見直し				
事業の効果	<p>令和 2 年 3 月 30 日の MAS プラン第 3 次基本計画答申の中で、「社協財政あり方委員会 (仮称) の再構築」について、「マンパワーが不足している問題があり、現状では委員会を設置しうる体制にない」との付帯意見の最終答申がなされたが、事務局内で評価と見直しを行ったところ、財政については緊急かつ重要な課題であると確認し、「沖縄市社会福祉協議会財政健全化委員会」を設置した。</p> <p>(1) 財政健全化委員の設置及び開催 期 日：令和 4 年 2 月 1 8 日 議 題：①市区町村社協経営指針と沖縄市社協の現状 (事務局) ②沖縄市社協の財政状況 (比嘉孝明委員) ③沖縄県内社協の財政状況 (久根次薫委員) 委員氏名：上地武昭 (おきなわ地域福祉研究会主宰)、親川修 (NPO 法人バリアフリーネットワーク会議理事長)、屋宜恒一 (沖縄市民生委員・児童委員協議会会長) 比嘉孝明 (比嘉孝明税理士事務所代表)、當山全克 (沖縄市自治会長協議会会長)、久根次薫 (沖縄県社協地域福祉部部长)、島田薫 (沖縄市社協会長)</p> <p>(2) 県内外社協の取り組みの情報収集 (3) 自主財源確保のためのファンドレイジング研修への参加 (職員 4 名)</p>				
課題	財政健全化委員会の運営と意見の総括。				
事業の評価	A	B	C	D	E
備考					

事業名 1	(10-①) 沖縄県共同募金会沖縄市共同募金委員会の設置・運営				
事業名 2	赤い羽根共同募金運動				
担当課	総務係				
事業の目的	沖縄市社会福祉協議会内に沖縄県共同募金会沖縄市共同募金委員会を設置・運営し、本市の地域福祉推進に寄与する。				
事業の内容	<p>(1) 赤い羽根共同募金運動の実施</p> <p>①戸別募金…自治会を通して募金の協力を求める。</p> <p>②職域募金…市内の企業や事業所の職員を対象に協力を求める。</p> <p>③法人・個人募金…民生委員を奉仕員とし、企業等へ訪問し協力を求める。</p> <p>④街頭募金…福祉施設・団体などに依頼し、街頭で呼びかける。</p> <p>⑤学童募金…市内の小・中学校へ依頼して呼びかける。</p> <p>⑥募金箱…募金箱設置協力店を募集、募金を呼びかける。</p>				
事業の効果	<p>・赤い羽根共同募金目標額 13,053,000 円に対し 11,253,140 円（うち市内で集まった募金額：10,317,152 円）の募金が集まり、86.2%の達成率となった。前年度と比較すると、募金総額は 167,302 円の増となった。新型コロナウイルス感染症による、活動の自粛等から、法人募金の実績が前年度より 276,274 円の減となった。戸別、学童、個人募金は増。職域募金は前年度額とほぼ同等。街頭募金については、活動の自粛等で減となったが、協力団体にて募金箱の設置等を行って頂き、その他の募金が増となっている。</p> <p>・沖縄市共同募金委員会 運営委員会 1 回（書面決議）</p>				
課題	<p>・赤い羽根共同募金に対する広報・啓発、自治会加入率の増加に向けた取り組み及び法人向けの募金活動の強化。</p> <p>・運営委員会における、配分審査委員会についての検討。</p>				
事業の評価	A	B	C	D	E
備考	※詳細については、P46 の巻末資料④に記載。				

事業名 1	(10-②) 沖縄県共同募金会沖縄市共同募金委員会の設置・運営				
事業名 2	歳末たすけあい運動及び歳末たすけあい義援金支給事業				
担当課	総務係				
事業の目的	<p>沖縄市社会福祉協議会内に沖縄県共同募金会沖縄市共同募金委員会を設置・運営し、本市の地域福祉推進に寄与する。</p> <p>また、募金は社会的孤立や経済的困窮の状態にある生活困窮者など様々な生活課題を抱えた方々に対して、住み慣れた地域で安心して新年を迎えられるよう義援金を配布する。</p>				
事業の内容	<p>(1) 歳末たすけあい運動の実施</p> <p>①戸別募金…自治会を通して募金の協力を求める。</p> <p>②職域募金…市内の企業や事業所の職員を対象に協力を求める。</p> <p>③法人募金…民間企業や福祉事業省等へ協力を求める。</p> <p>(2) 歳末たすけあい義援金支給事業の実施</p> <p>歳末の時期に、地域で困っている世帯の調査を自治会、民生委員児童委員、パーソナルサポート支援センター、社協貸付相談員、社協アウトリーチ相談員へ依頼し、義援金配分世帯を決定する。</p> <p>※生活保護受給者は対象外</p> <p>配分金 1 世帯あたり</p> <p>世帯主 10,000 円 2 人目以降 7,000 円加算</p>				
事業の効果	<p>(1) 歳末助け合い運動末たすけあい募金目標額 4,100,000 円に対して 3,931,667 円の募金が集まり、95.9%の達成率となった。前年比 381,509 円の増加。</p> <p>前年度と比較し、法人募金、個人募金が増となった。</p> <p>(2) 歳末たすけあい義援金支給事業</p> <p>204 世帯 3,387,000 円を支給することができた。</p>				
課題	義援金配分世帯の精査及び調査方法の拡充と、支給事務のチェック体制の強化。				
事業の評価	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D	E
備考	※詳細については、P47の巻末資料⑤に記載。				

事業名 1	(1 1) 地域見守りネットワーク事業				
事業名 2					
担当課	地域福祉係				
事業の目的	地域で支援が必要な高齢者等の見守りを、地域住民、民間事業者、福祉専門機関等の沖縄市内の様々な主体が、役割分担と相互連携を行い、ネットワークを構築し展開することにより、誰もが安心して暮らし続けることのできる地域体制作りを推進することを目的とする。				
事業の内容	見守り活動実施者は、「新聞や郵便物がたまっている」「生活に困窮している様子がある」「来店者の様子が通常ではない」などの異変に気づいた場合は、その内容を社協へ連絡・相談をする。連絡を受けた社協は、自治会や行政、専門機関等と情報収集や調整を行い、適切な福祉サービスへつなげるなどの対応を行う。また、必要に応じて関係者による見守りネットワーク会議を開催し、より良い支援を行う体制作りを目的とする。				
事業の効果	<p>(1) 協定締結事業所数 3 4 事業所 (新規締結事業所 4 事業所)</p> <p>(2) 事業所等からの見守り連絡・対応件数 2 件</p> <p>ケース① 何度か大金を下す高齢者に関しての相談。「人へ貸せるため引き出す」と言っているのが気になるとの連絡。</p> <p>●対応⇒アウトリーチ相談のチラシを渡し、アウトリーチ相談員で対応可能であることを助言。</p> <p>ケース② 子どもたち薬物乱用が深刻ではないか？実際に見聞きすることが多いので、どう対応したらよいか？との連絡</p> <p>●対応⇒・警察や、教育委員会・行政へ情報提供することと、子ども支援団体間でも情報を共有することを助言。</p> <p>(3) 見守り活動者用バッジ・ステッカーの作成及び配布(随時)</p> <p>(4) 見守り広報用チラシ・ポスターの配布 (随時)</p>				
課題	企業・団体の事業内容に応じた見守り活動の紹介。				
事業の評価	A	B	C	D	E
備考	※協定締結事業所の一覧は、P48 の巻末資料⑥に記載。				

事業名 1	(12) こどもの未来応援事業				
事業名 2					
担当課	地域福祉係				
事業の目的	問題を抱えているすべてのこどもの、未来を応援するため地域住民等や企業・団体等の新たな主体の参画を促進することで、活動参加者相互の役割分担と交流・連携を図り、こどもたちが安心して暮らし続けることのできる福祉のまちづくりを推進することを目的とする。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) こども支援団体連絡会の開催 (2) 支援活動についての広報 (3) 支援を希望する企業等と支援団体とのマッチング (4) ボランティアの育成 (5) 自治会、民生委員、専門機関等との支援ネットワークの構築 (6) こどもたちの現状・課題についての啓発活動 				
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> (1) こども支援団体との連絡調整（随時） (2) 支援企業等とこども支援団体間のコーディネート(随時) (3) こども支援団体への指定寄付（10件/910,000円） (4) フードバンクの提供（264件） (5) JAおきなわちゃんぷるー市場・生産者との共催で「こども応援プロジェクト」の実施 ※毎週2回、チャンプルー市場出品農家より野菜類の提供を受けて、8団体が受け取った。 (6) オリオンベーカリー「こども支援活動」の実施 ※パンの提供を受けて市こども支援内団体4団体が、週4回受け取った。（令和3年8月まで実施） (7) 上間天ぷらプロジェクトの実施 ※月2回、天ぷら15,000円分を子ども支援団体へ配布した。 (8) 沖縄郵便株式会社との「沖縄市におけるこどもの貧困対策に関する」協定の締結とフード提供の協力。 (9) こども未来協力店事業への協力 実施店舗：①味自満チェーン ②FMコザ 				
課題	こども支援団体のニーズ調査と、企業等とのコーディネートの強化。				
事業の評価	A	B	C	D	E
備考					

事業名 1	(1 3) 共生のまちづくりモデル事業				
事業名 2					
担当課	地域福祉係				
事業の目的	L G B T に関して地域での理解を深める取り組みや、L G B T 当事者の支援と、災害時に避難情報や避難所等での生活に不安を抱える外国人を支援することにより、誰もが住みよい多文化共生のまちづくりの推進を目的とする。				
事業の内容	(1) L G B T 当事者や支援者等の情報交換、交流の場の設置。 (にじいろゆんたく会の開催) (2) L G B T 広報啓発イベントの実施及び関係団体への支援。				
事業の効果	(1) にじいろゆんたく会の開催 「当事者のみの会」と「当事者や家族、関係者も参加できる会」と分けて、偶数月に開催。当日の進行や運営は当事者が行っている。 開催回数：4回 参加者：18名 (2) 沖縄市セクシャリティ研究会の活動支援 当事者同士の話し合いや情報交換を目的としたボランティアグループとの情報交換や支援を行った。 開催日：毎月1回				
課題	LGBT 関係団体との連携。				
事業の評価	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D	E
備考					

事業名 1	(14-①) フードバンク支援事業				
事業名 2	ひとり一品食料寄付運動				
担当課	地域福祉係				
事業の目的	市民から食料の「おすそわけ」「提供」を頂き、提供いただいた食料等を必要な世帯へ、緊急に提供することを目的とする。				
事業の内容	<p>(1) 住民が公民館（自治会事務所）へ食料を届ける。</p> <p>(2) 公民館（福祉連絡会）から沖縄市社協へ食料をまとめて届ける。</p> <p>(3) 沖縄市社協から、緊急に食料支援が必要な方へ食料（約 1 週間分を目安）を渡す。</p> <p>(4) 子ども支援団体や生活困窮者支援団体へ食料を配布する。</p>				
事業の効果	<p>市民より、米・缶詰・インスタント食品・調味料など多くの食料の提供があった。</p> <p>(1) 自治会提供（お中元企画・お歳暮企画として年 2 回実施） 457キログラム</p> <p>(2) 企業・団体提供：延べ 事業所等 4,667キログラム（過去最高） ※味自満チェーン弁当宅配サービスへの協力</p> <p>(3) 個人提供 1,078キログラム</p> <p>計 6,202キログラム</p> <p>(4) 沖縄総合事務局「フードバンク活動情報交換会」での講話 期日：令和 4 年 2 月 9 日 担当：事務局長</p>				
課題	食料保管場所の確保。				
事業の評価	A	B	C	D	E
備考					

事業名 1	(14-②) フードバンク支援事業				
事業名 2	新型コロナウイルス関連フードバンク支援事業 (新規)				
担当課	地域福祉係				
事業の目的	新型コロナウイルス感染症に罹患し、在宅療養または濃厚接触者と判断された方及びその世帯に対し、食料品等 (フードバンク) を提供することにより、療養期間と自宅待機期間の生活を支援することを目的とする。				
事業の内容	<p>①対象世帯は、沖縄市社会福祉協議会、電話にて申し込む。</p> <p>②社協は、世帯人数に応じて約2週間分の食料を配達する。</p> <p>③社協は申請者へ配達日時を連絡し、玄関前または指定場所へ配達をする。原則として、申し込み日の当日の配達とする。</p> <p>④配達終了後、配達人は申請者宅へ配達終了の連絡をし、申請者はすみやかに受け取る。</p> <p>⑤配達は、申請者・配達人の双方とも接触しない方法にて行う。</p> <p>⑥フードによる支援以外の生活課題や相談がある場合についてはCSWやアウトリーチ相談員へつなぐこととする。</p>				
事業の効果	<p>①実施期間 令和3年9月6日～令和4年3月31日 (継続中)</p> <p>②支援件数 177世帯</p> <p>③支援人数 642人</p> <p>④主な提供品 食料 (米、缶詰)、菓子類、赤ちゃん用ミルク、紙おむつ、日用品 (ティッシュ、歯磨き、生理用品、マスク)</p> <p>⑤協力事業所 株式会社仲本工業、イオン琉球株式会社 (黄色いレシートキャンペーン)、白十字株式会社、JAおきなわ、居酒屋味自満チェーン、ヘルプオキ合同会社</p>				
課題	食料品等の安定的な確保。				
事業の評価	A	B	C	D	E
備考					

事業名 1	(1 5) 法外援護事業																															
事業名 2																																
担当課	地域福祉係・権利擁護係																															
事業の目的	<p>現行の法律や制度での対応が難しく、なおかつ緊急に援助が必要な困窮世帯に対し食費等の生活費等を支給することにより、世帯の生活維持を図る。</p>																															
事業の内容	<p>10万円を限度として、当該申請世帯に必要と認められる食費やその他生活維持に必要と認められる経費を支給。ただし、今後、生活の自立に向けての支援策を活用し自立の見込みのある世帯が対象。</p> <p>(1) 申請件数及び支援金額</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>援助申請</td> <td>支給/現物給付</td> <td>立替</td> <td>食糧支援</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>14</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>173</td> </tr> <tr> <td>金額/重量</td> <td>603,300円</td> <td>278,000円</td> <td>325,300円</td> <td>1,693kg</td> </tr> </table> <p>(2) 申請理由</p> <table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>当座の生活費等</td> <td>光熱水費等</td> <td>食糧支援</td> <td>その他</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>173</td> <td>0</td> <td>187</td> </tr> </table>						援助申請	支給/現物給付	立替	食糧支援	件数	14	5	9	173	金額/重量	603,300円	278,000円	325,300円	1,693kg	理由	当座の生活費等	光熱水費等	食糧支援	その他	合計	件数	6	8	173	0	187
	援助申請	支給/現物給付	立替	食糧支援																												
件数	14	5	9	173																												
金額/重量	603,300円	278,000円	325,300円	1,693kg																												
理由	当座の生活費等	光熱水費等	食糧支援	その他	合計																											
件数	6	8	173	0	187																											
事業の効果	<p>(1) 現行制度では支援が困難な生活困窮世帯に対して援護金を支給または立替をすることで、世帯の窮状を救うことができ自立と生活の安定化を図ることができた。</p> <p>(2) 事業を通して、沖縄市の保護課やパーソナルサポートセンター、地域包括支援センター等の関係機関との連携協力ができる。</p>																															
課題	安定的な財源の確保																															
事業の評価	A	B	C	D	E																											
備考																																

事業名 1	(16) 沖縄市ふれあいのまちづくり事業				
事業名 2	沖縄市小地域ネットワーク事業				
担当課	地域福祉係				
事業の目的	市民福祉活動を積極的に促進し、自治会を中心とした住民参加型の小地域ネットワーク事業を展開することにより住民主体の、誰もが安心して生活ができる「福祉のまちづくり」を進めることを目的とする。				
事業の内容	自治会、民生委員児童委員、老人クラブ、婦人会、青年会、ボランティア等の地域住民を中心に、要援護者やその家族に対する小地域ネットワークを形成し、見守りや必要な福祉サービス等へつなげる。 また、要支援者などに対しての訪問相談や見守りを通じた支援を行うコミュニティソーシャルワーカーとしての役割を担うアウトリーチ相談員を配置した。				
事業の効果	<p>1. コロナ禍においても非接触等の工夫をして、友愛訪問活動、要援護者等の見守り活動など、地域での支え合い活動が展開された。また、福祉連絡会ごとに具体的な取り組みを計画的かつ効果的に実施するために、すべての福祉連絡会に対して聞き取り調査を行い、「福祉連絡会支援計画シート」を作成した。</p> <p>2. アウトリーチ相談員を設置し2年目となることで地域での認知が進み、これまで潜在していたひきこもり、多問題を抱えた世帯、専門機関とのつながりがなかった世帯等の相談支援が行うことができた。</p> <p>3. 民生委員・児童委員協議会の事務局員を配置することにより、民生委員・児童との連携がスムーズに行えた。</p> <p>(1) 小地域ネットワーク事業の実施 ①事業指定自治会 37自治会 ②福祉連絡会への職員の参加及び資料配布 245回 ③泡瀬団地自治会での福祉連絡会の開催 9回</p> <p>(2) 福祉連絡会「見守り・地域交流・防災」事業等への加・協力 ①指定自治会 35回 ②指定外 2回 ③その他 1回</p> <p>(3) 福祉連絡会「支援計画シート」の作成。 現在の活動や地域の課題等について37か所の福祉連絡会で実施。</p> <p>(4) アウトリーチ相談員による相談支援 相談支援件数 1,268件(新規相談件数 365件)</p> <p>(5) かけはし無料法律相談の実施(沖縄県司法書士会沖縄支部による相談) 期間 令和3年4月～令和4年3月間で8回 件数 26件</p>				
課題	「支援計画シート」を活用しての、各福祉連絡会への支援。				
事業の評価	A	B	C	D	E
備考	※アウトリーチ相談員の実績については、P49の巻末資料⑦に記載。				

事業名 1	(1 7) 災害時要支援者支援体制整備業務				
事業名 2	災害時あんしん避難支援事業				
担当課	地域福祉係				
事業の目的	住民ひとりひとりの災害に対する意識の高揚が何よりも大切な事であり、自主防災組織等を中心とした地域住民相互の支えあいにより、避難行動要支援者への支援体制作りを図る。				
事業の内容	<p>専任職員 2 名を配置し、大雨特別警報や土砂災害警戒情報等の発令時に、登録者や支援者に避難や注意を促した。</p> <p>また、コロナ禍の中で大人数での勉強会等の開催が厳しい中、専門家監修のもと作成した「地域防災 DVD」を、福祉連絡会での学習会で活用した。</p> <p>(1) 避難行動要支援者避難支援業務の周知と利用申請支援 (2) 避難支援対策協議会の運営 (3) 災害時の安否確認と避難支援の調整 (4) その他、災害時の要支援者の避難関しての業務</p>				
事業の効果	<p>(1) 相談受付件数 5 0 6 件 (2) 自治会・自主防災組織への支援 1 0 1 回 (3) 新規事業登録者数 4 人 (延べ登録者数 6 9 人) (4) 見守り・安否確認のための情報提供 8 4 3 件 (5) 地域での「災害に備えて」の講演会・勉強会の開催 9 回 (6) 要配慮者支援活動支援団体の補助金申請調整 3 3 回 (7) 災害発生の注意喚起と安否確認及び避難支援の調整 1 8 9 回 (8) 地域防災 DVD の活用</p> <p>監修：稲垣暁氏 (沖縄国際大学特別研究員、他) ①コロナ禍における外での過ごし方(18 分 40 秒) ②コロナ禍におけるネットワーク活用方法(20 分 50 秒) ③災害時における「公助」と地域の実際(33 分 30 秒) ④沖縄で必要な自宅の備え(31 分 38 秒)</p>				
課題	名簿登録者数の増加方策の検討と、関係機関・団体との連携強化。				
事業の評価	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D	E
備考	※沖縄市からの受託事業。				

事業名 1	(18) 防災・減災「地域力強化」支援事業				
事業名 2					
担当課	地域福祉係				
事業の目的	災害から命を守るために、住民一人一人に対しての、災害に対する「心構え」と避難に関する「知識」等の普及を図るとともに、地域全体での「防災・減災」の取り組みを支援し、「地域力」を強化すること目的とする。				
事業の内容	(1) 自主防災組織との連携による地域での防災の取り組み支援 (2) 関係団体との連携による防災への取り組み (3) 地域防災・減災に関する広報活動（自治会、関係機関への周知活動）				
事業の効果	(1) 「自治会・福祉事業所」への防災に関する聞き取り調査の実施 23か所 令和4年2月～3月 (2) 自治会での防災訓練、研修会等への参加・支援 ①泡瀬自治会学習会「災害の備えについて」 参加者：10人 期日：令和3年4月13日 ②沖縄市社協職員研修会「事業説明・DVD学習」 参加者：8人 期日：令和3年6月4日 ③泡瀬自治会学習会「マイタイムラインについて」 参加者：10人 期日：令和3年10月12日 ④高原自治会「防災キャンプ」での「防災リュック紹介」 参加者：約30名 期日：令和3年11月27日 ⑤吉原自治会防災訓練への参画「防災資材紹介」 参加者：約50人 期日：令和3年11月28日 ⑥泡瀬第3自治会ワークショップ「HUGゲーム」 参加者：13人 期日：令和4年1月8日 ⑦山里自治会防災勉強会「我が家の防災」での講話 参加者：7人 期日：令和4年3月11日				
課題	事業内容の再検討と、自主防災組織等との連携強化。				
事業の評価	A	B	<input checked="" type="checkbox"/>	D	E
備考					

事業名 1	(19-①) 沖縄市ボラントピア事業				
事業名 2	ボランティアセンターの運営事業				
担当課	地域福祉係				
事業の目的	市民及びボランティア団体や個人・企業に対して、活動の支援を行うことを目的とする。また、ボランティアコーディネートにより、人と人が支え合うまちづくりに貢献することを目的とする。				
事業の内容	(1) ボランティア団体・個人へ会議室（市民活動交流センター）や、機材、DVD等の貸し出しを行う。 (2) ボランティアに関する相談受付を行い、市民や企業等のボランティア参加の支援をする。 (3) ボランティア情報を市民に提供し、活動への広報・啓発を行う。				
事業の効果	(1) ボランティアや福祉団体への支援 ①福祉機材等の貸出：85件 ②市民活動支援センターの貸出：261件 (2) ボランティアに関する相談支援・関係者との業務調整：275件 (3) ボランティア情報紙「ぼらなび」の作成及び配布：毎月1回発行 (4) ボランティア情報BOXの設置：50か所 ※市内の協力事業所等へ「ぼらなび」などの福祉情報を提供した。 (5) ホームページやFacebookを活用した情報提供：随時実施 (6) ボランティア管理システム導入（調整会議13回） (7) ボランティア保険加入件数（全加入者数：16,621名） ① ボランティア活動保険：個人29件、団体31件 ② 送迎サービス保険：3件 ③ 福祉サービス総合補償：15件 ④ ボランティア行事用保険：45件 (8) ボランティア関連研修への参加 ①中部地区社会福祉協議会連絡協議会 ボランティア部会 令和3年4月～令和4年3月（毎月第3水曜日 午後2時～） 会場：中部地区内社会福祉協議会、WEB会議（ZOOM） ②災害ボランティアセンター運営者研修会（ZOOM） 日時：令和3年11月22日（月）13:00～16:00 (9) スマートフォンアプリLINEの導入準備 【効果】地域福祉、ボランティア活動に関する情報提供ができ、市民や関係団体へボランティアセンターが周知されてきた。市民活動やボランティア活動に関する相談が増えている。				
課題	より多くの世代へ地域福祉やボランティア情報が届くよう、SNS等を活用した多様な情報発信方法の検討と、情報管理体制の強化。				
事業の評価	A	B	C	D	E
備考	※LINEの登録QRコードはP50の巻末資料⑧に記載。				

事業名 1	(19-②) 沖縄市ボランティアピア事業				
事業名 2	ボランティア登録・あっせん事業				
担当課	地域福祉係				
事業の目的	ボランティア活動を希望するものと、ボランティアによる支援必要とするものを、マッチングさせ、人と人が支え合うまちづくりに貢献することを目的とする。				
事業の内容	<p>(1) ボランティア活動を希望する団体・個人へ、活動に関する情報提供を行い、ボランティアとして登録し、ニーズに合わせたボランティア活動をコーディネートする。</p> <p>(2) ボランティアの支援を必要とする団体・個人に対しても同様に、ニーズに合ったボランティアの派遣を行う。</p> <p>(3) 市内小中学校と連携し、特別支援教育サポーター（スクールボランティア）の派遣を行う。</p> <p>(4) その他、市民の福祉的ニーズに応じた活動への支援を行なう。</p>				
事業の効果	<p>(1) 団体登録実績数 120 団体</p> <p>(2) 個人登録実績数 274 名</p> <p>(3) 個人ボランティア派遣実績 ・依頼数：68 件 派遣数：55 名</p> <p>(4) 団体ボランティア派遣実績 ・依頼数：11 件 派遣数：95 名</p> <p>(5) 旧盆助け合いお掃除ボランティア活動 ※市内高齢者、障がい者等宅の清掃活動 ・活動実施件数：2 件、派遣者数：4 名</p> <p>(6) 年末助け合いお掃除ボランティア活動 ・市内高齢者、障がい者等宅の清掃活動 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>【効果】 ボランティアセンターの周知が進みボランティア登録者が増加。同時に、ボランティアの支援が必要な方からの直接の依頼が増え、地域住民の福祉課題と市民ボランティアの活動をつなぐ役割を果たしている。</p>				
課題	多様なボランティアニーズに応じた、より多くのボランティア人材の確保。				
事業の評価	A	B	C	D	E
備考					

事業名 1	(19-③) 沖縄市ボランティア事業				
事業名 2	福祉・ボランティア人材養成事業				
担当課	地域福祉係				
事業の目的	地域・学校・各種団体・事業所等で、福祉教育を実施することにより、地域のさまざまな福祉的課題に関心を持ち、解決に向け取り組もうとする人材を育成し、福祉のまちづくりを推進することを目的とする				
事業の内容	<p>(1) 福祉やボランティアに関する講座の開催、人材養成研修の実施。</p> <p>(2) 福祉教育に必要な、講師および職員派遣、福祉機材の貸し出し、資料の提供等を行う。</p> <p>(3) 地域の福祉課題やニーズに合わせた、福祉教育や活動プログラムの作成と実施、相談、調整を行う。</p> <p>(4) 高校生の福祉体験学習「スマートライアルツアー」の開催</p>				
事業の効果	<p>(1) 福祉体験学習の実施協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験実施回数：18回 延べ参加者数：810名 ・福祉講話実施：視覚障がいに関する講話 1回 聴覚障がいに関する講話 2回 身体障がいに関する講話 4回 福祉やボランティアに関する講話 4回 ・手話体験学習 2回 ・車イス体験学習 4回 ・アイマスク体験学習 1回 ・福祉用具の貸出 28回 <p>(2) 福祉教育に関する相談支援件数（連絡調整、訪問）59件</p> <p>(3) 高校生の福祉体験学習「スマートライアルツアー」 ⇒ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。</p> <p>【効果】例年と比較し、地域や学校等で事業実施が減少したものの、感染症対策を講じつつ講座を開催し、福祉的課題に関心をもってもらうきっかけとなった。</p>				
課題	多様な福祉教育メニューの開発や、ボランティアニーズに即した人材育成講座の企画・内容の検討。				
事業の評価	A	B	C	D	E
備考					

事業名 1	(19-④) 沖縄市ボランティア事業				
事業名 2	特別清掃物件支援モデル事業「リスタート事業」				
担当課	地域福祉係				
事業の目的	<p>現に居住している物件で、家屋内に物を溜め込み生活環境が著しく悪化している居住者への支援を行なうため、通常の清掃活動では、清潔に行えることができない家屋内の掃除や片付けを専門業者と関係機関等で行い、居住者の地域での安定した生活の推進および福祉の増進に寄与することを目的とする。</p>				
事業の内容	<p>(1) 物件調査 (事前調査・経費の見積もり・調査に必要な対応) (2) 特別清掃 (受託業者による家屋内清掃・消毒) (3) 関係機関・団体による特別清掃 (ゴミ・廃棄物の処理、特別清掃への参加協力)</p>				
事業の効果及び課題	<p>(1) 相談件数 5件 (2) 申込件数 3件 (3) 実施件数 1件 (4) 協定締結専門業者 2社</p> <p>【効果】通常の清掃活動では対応が困難だった世帯へ介入する手立てができ、相談先として認知され始めてきた。</p>				
課題	<p>財源の確保と、清掃活動実施に向けての地域住民・関係機関・清掃業者との連携強化。</p>				
事業の評価	A	B	<input checked="" type="checkbox"/> C	D	E
備考					

事業名 1	(19-⑤) 沖縄市ボランティアピア事業				
事業名 2	福祉的要配慮風水災害ボランティアセンター設置事業				
担当課	地域福祉係				
事業の目的	<p>台風、豪雨、高潮などによる災害の発生後、沖縄市におけるボランティアの受け入れ体制の確保を図り、被災した福祉的要配慮者への支援活動が円滑かつ効果的に展開されることを目的とする。</p> <p>(※福祉的要配慮者…福祉的な支援が必要な方。当事業の対象要件①独居の高齢者・障がい者、②家族や親族の支援が得られない方、③経済的困窮で業者等への依頼が困難な方)</p>				
事業の内容	<p>(1) 風水災害ニーズ受付・相談・調査</p> <p>(2) 風水災害ボランティア活動調整 (マッチング)</p> <p>(3) 機材の貸出</p> <p>(4) 風水災害ボランティア活動支援</p> <p>(5) 風水災害ボランティアの募集・登録</p> <p>(6) 防災担当関係機関・団体との連携・協力</p>				
事業の効果及び課題	<p>(1) 風水災害ボランティアニーズ調査</p> <p>・被害状況調査</p> <p>①7月5日 大雨被害状況 架電確認 37自治会</p> <p>②7月5日 土砂災害被害現場確認と情報収集 (園田・古謝・池原・比屋根 4か所)</p> <p>③7月26日 台風6号被害状況 架電確認 37自治会</p> <p>④相談件数 3件 東部地域自治会より</p> <p>⑤支援活動 訪問調査 4件</p> <p>⑥関係者への聞き取り 4件</p> <p>(2) 研修参加</p> <p>①自治体の福祉防災における民間活力の導入と受援の進め方 日時：令和3年9月15日(水) 10:00~12:00 会場：ZOOM 配信</p> <p>②災害時相互応援協定に基づく市町村事務局長オンライン会議 日時：令和3年11月22日(月) 10:00~12:00 会場：ZOOM 配信</p> <p>③災害ボランティアセンター運営者研修会 日時：令和3年11月22日(月) 13:00~16:00 会場：ZOOM 配信</p> <p>(3) 協定締結事業所1社 (NPO 法人友志企画)</p> <p>【効果】台風等により被災した福祉的要配慮者の相談先、支援の手立てとなった。</p>				
課題	被災後の迅速な対応を目指して協力者、協力団体を増やす方策の検討。				
事業の評価	A	B	C	D	E
備考					

事業名 1	(19—⑥) 沖縄市ボランティア事業				
事業名 2	住民参加型在宅福祉サービス事業 (地域助け合いサービス事業)				
担当課	地域福祉係				
事業の目的	地域での助け合い、支えあいを基盤とした住民参加による相互援助の在宅福祉サービス (有償) を実施し、地域住民が安心して暮らすことができ、誰もがいきいきと生活できる地域づくりを推進する。				
事業の内容	(1) 依頼者、支援者の受付・登録 (※会員制度のため登録制) (2) 支援ニーズ (依頼) の受付・相談 (3) 依頼者と支援者のマッチング (調整)、連絡 (4) 支援者の募集、養成 (5) 広報活動 (6) 自治会や民生委員、関連機関・団体との協力や連携				
事業の効果及び課題	(1) 相談援助件数 40件 (2) 依頼申込件数 28件 (3) 活動実施件数 28件 (4) 活動派遣人数 延べ33名 (5) 広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ作成 3,000枚 ・福祉連絡会参加者、ボランティア登録者へ募集呼びかけ ・沖縄市生活支援サポーター養成講座にて事業説明 【効果】住民参加型サービスとして、地域住民がお互いに支えあい、助け合う仕組みづくりができた。事業の広報周知ができ、依頼の相談が増えた。				
課題	多様なニーズに対応できる活動者を増やすための方策の検討。				
事業の評価	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D	E
備考	※事業案内チラシは P 5 1 の巻末資料⑨に記載。				

事業名 1	(20-①) 沖縄市障がい者社会参加促進事業				
事業名 2	手話奉仕員養成事業				
担当課	地域福祉係				
事業の目的	聴覚障がい者等の社会参加の促進と自立を図るため、身体障がい者福祉の概要や手話通訳の役割や責務等について理解ができ、手話通訳に必要な手話語彙、手話表現技術及び基本技術を習得した手話通訳奉仕員を養成することを目的とする。				
事業の内容	<p>(1) 身体障がい者の福祉に理解と熱意を有するものに対し、厚生労働省の示す「手話奉仕員養成カリキュラム」に準じ、聴覚障がい者のコミュニケーション手段である手話の指導を行う。</p> <p>(2) 手話の指導は、指文字、手話単語、文法、障がい者福祉制度、手話・聴覚障がい者運動の歴史について、実技及び講義形式で行う。また、適宜、通訳現場の見学や聴覚障がい者のとの交流の機会を設ける。</p>				
事業の効果	<p>(1) 講座の実施</p> <p>①入門課程 : 新型コロナウイルス感染症の影響で中止</p> <p>②基礎課程 : 新型コロナウイルス感染症の影響で中止</p> <p>③代替講座 : 基礎フォローアップ講座 (全 19 回) (延べ参加者 : 66 名)</p> <p>: スキルアップ講座 (全 6 回) (延べ参加者 : 13 名)</p> <p>(2) 沖縄市意思疎通支援事業への登録者数 : 0 名 ※講座中止のため</p> <p>(3) 手話奉仕員養成講座運営委員会の実施 運営委員会 : 2 回、定例作業部会 : 3 回</p> <p>(4) 手話奉仕員登録者の活動の支援 書籍・DVD 等の貸し出し 37 回</p> <p>(5) 現任研修の実施 予定 全 3 回 実施 全 2 回 (4 時間) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、1 回中止</p>				
課題	手話奉仕員未登録者へのフォローの実施。				
事業の評価	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D	E
備考	※沖縄市からの受託事業。				

事業名 1	(20-②) 沖縄市障がい者社会参加促進事業				
事業名 2	要約筆記者養成事業				
担当課	地域福祉係				
事業の目的	要約筆記者を養成し、聴覚、言語機能、音声機能、その他の障がいのため、意思疎通を図ることに支障がある障がい者及び障がい児の福祉の増進を図る。				
事業の内容	聴覚障害、聴覚障害者、とりわけ中途失聴・難聴者の生活及び関連する福祉制度や権利擁護、対人援助等についての講義・実技指導を通し、難聴者の多様なニーズに対応できる要約筆記者を養成する。				
事業の効果	<p>(1) 講座の実施</p> <p>①要約筆記者養成講座：新型コロナウイルス感染症の影響の為中止</p> <p>②代替講座：スキルアップ（試験対策講座）全6回 延べ参加者数：13名</p> <p>(2) 沖縄市意思疎通支援事業への新規録者数：0名 ※講座中止のため</p> <p>(3) 現任研修の実施 実施 全5回（9.5時間） 延べ参加者数：18名</p>				
課題	講座受講生の確保と、コロナ禍における講座開催手法の検討。				
事業の評価	A	B	C	D	E
備考	※沖縄市からの受託事業。				

事業名 1	(20-③) 沖縄市障がい者社会参加促進事業				
事業名 2	意思疎通支援事業				
担当課	地域福祉係				
事業の目的	<p>聴覚、言語機能、音声機能、視覚その他の障がいのため、意思疎通を図ることに支障がある障がい者及び障がい児（以下「聴覚障がい者等」という。）のために手話通訳、要約筆記者の方法により聴覚障がい者等とその他の意思疎通を仲介する手話通訳士、手話通訳者、手話奉仕員（以下「手話通訳者等」という。）、要約筆記者、要約筆記奉仕員（以下「要約筆記者等」という。）の派遣を行いその意思疎通の円滑化を図ることを目的とする。</p>				
事業の内容	<p>(1) 手話通訳者等の設置 市役所に来庁する聴覚障がい者等の各種手続き等に関する手話通訳業務を行う。</p> <p>(2) 手話通訳者等の派遣</p> <p>(3) 要約筆記者等の派遣</p>				
事業の効果	<p>(1) 手話通訳者等の登録 派遣登録数：65名 (手話通訳士 10名、手話通訳者 13名、 リレー通訳者 3名、奉仕員 39名)</p> <p>(2) 手話通訳者等派遣 派遣件数：450件 斡旋件数：40件 延べ派遣人数：604名</p> <p>(3) 要約筆記者等の登録 派遣登録数：34名 (要約筆記者 20名、奉仕員 14名)</p> <p>(4) 要約筆記者・奉仕員の派遣 依頼件数：7件 派遣件数：4件 【内訳】ノートテイク：1件 手書き OHC：0件 パソコン全体投影：3件 延べ派遣人数：10人</p>				
課題	要約筆記者派遣事業と、事業利用に関する広報啓発。				
事業の評価	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D	E
備考	<p>※沖縄市からの受託事業。 ※手話通訳者派遣事業は、令和4年度より沖縄市直営事業。</p>				

事業名 1	(2 1) 生活福祉資金貸付事業					
事業名 2						
担当課	権利擁護係					
事業の目的	低所得者世帯などに対し、民生委員と連携をとりながら低利または無利子での生活福祉資金の貸付を行うことで、世帯の経済的自立を図る。 ＜沖縄県社会福祉協議会との受託契約＞					
事業の内容	＜貸付資金の種類＞ (1) 緊急小口資金 (2) 福祉費 (3) 教育支援資金 (4) 総合支援資金 (5) 不動産担保型生活資金 (6) 臨時特例つなぎ資金 (7) 特例貸付資金（緊急小口資金・総合支援資金）					
事業の効果	(1) 相談・貸付件数及び貸付実績					
		資金区分	相談件数	貸付件数	貸付決定額	内容
		緊急小口資金	55	5	395,000	一時的困窮世帯への貸付
		福祉費	221	8	4,062,000	
		教育支援資金	163	24	17,183,400	大学等への進学費用貸付
		総合支援資金	40	0	0	失業者等への貸付
		不動産担保型生活資金	12	0	0	
		臨時特例つなぎ資金	0	0	0	
		特例緊急小口（コロナ）	1,926	2,048	400,990,000	
		特例総合支援（コロナ）	4,422	5,596	2,999,067,000	
		その他	344			
		計	7,183	9,744	3,421,697,400	
	(2) 生活福祉資金事務局審査会 32 回（承認件数 32 件） 参加者：事務局長、課長、担当職員 (3) 償還相談 111 件 (4) 沖縄市パーソナルサポートセンター（生活困窮者自立支援事業）との連携・協力 ①支援調整会議等への参加 2 回 ②生活困窮世帯の支援に関する連絡調整（随時）					
課題	令和 4 年度よりコロナ特例資金の償還が始まるため、その業務に必要な償還担当の職員数の確保。					
事業の評価	A	B	C	D	E	
備考	※沖縄県社会福祉協議会からの受託事業。					

事業名 1	(2 2) 高齢者居住サポートモデル事業				
事業名 2					
担当課	権利擁護係				
事業の目的	賃貸住宅への入居に困窮している高齢者に対して、入居支援及び居住継続支援等を行い、賃貸住宅への入居の機会の確保及び入居後の安定した居住の継続を図り、地域での安定した生活の推進及び福祉の増進に寄与する。				
事業の内容	<p>(1) 入居支援（申請件数） 2 件</p> <p>ア 賃貸住宅探し</p> <p>イ 賃貸住宅の賃貸人との賃貸借契約の支援</p> <p>ウ その他入居に際して必要な支援</p> <p>(2) 居住継続支援（入居契約） 1 件</p> <p>①24 時間電話相談支援</p> <p>②その他居住を継続するうえで発生する問題等に対する支援</p> <p>(3) 入居保証</p> <p>受託事業者が賃貸借契約上の賃借人が負うべき金銭責務を対象者と受託事業者が締結する賃貸借契約の規定のとおり保証する。</p>				
事業の効果	令和 3 年度は申請件数が 2 件で、内 1 件が入居契約に至った。その結果、高齢者が安心して地域生活を継続できる住環境に移ることができた。他の 1 件は、継続物件検索中となっている。				
課題	高齢者の二一ズが高い 1 階の空き室物件の不足。また、入居に必要な条件となる緊急連絡先の登録ができない申請者への支援方法の検討。				
事業の評価	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D	E
備考					

事業名 1	(2 3) 沖縄市法人後見受任事業				
事業名 2					
担当課	権利擁護係				
事業の目的	本会が法人組織として、判断能力が不十分な認知高齢者や障がい者等の後見人等を受任するとともに、市民の権利擁護意識を高めるために必要な広報・啓発活動を行い、「社会的包摂」推進に寄与する。				
事業の内容	<p>(1) 受任件数 21 件 (後見 17 件、保佐 3 件、補助 1 件)</p> <p>①新規受任件数 2 件 (終了件数 5 件)</p> <p>②成年後見監督 1 件 (市民後見人 1 件)</p> <p>(2) 後見活動状況</p> <p>ご本人面会等 2,414 件 (※内訳は巻末資料⑩に記載)</p> <p>(3) 夜間・休日対応 12 件</p> <p>(4) 専門員の育成</p> <p>会議、研修会参加 2 回</p>				
事業の効果	<p>(1)適切な金銭管理及び身上保護を行うことにより認知高齢者や障がいのある被後見人等の権利擁護を図ることができた。</p> <p>(2) 困難性の高い事案については、法人内の複数職員や他専門職等との連携協力により適切な支援ができた。</p> <p>(3)法人後見サポーターの活用や市民後見人等の養成に関わることにより、市民参加の権利擁護支援体制の構築を図ることができた。</p>				
課題	成年後見監督人としての役割を踏まえての、新規の受任調整。				
事業の評価	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D	E
備考	※詳細については、P 5 2 ~P 5 4 の巻末資料⑩に記載。				

事業名 1	(2 4) 沖縄市市民後見推進事業				
事業名 2					
担当課	権利擁護係				
事業の目的	誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らせる地域づくりをめざすため、認知症、知的障がい者、精神障がい者等により判断能力が不十分な人が成年後見制度を適切に利用できるしくみづくりを進めるとともに、地域福祉の観点から、市民が後見業務に新たな担い手として適切に活動できるよう支援し、成年後見制度の利用促進を図る。				
事業の内容	<p>(1) 法人後見サポーター及び日常生活支援員の派遣</p> <p>①登録者数 45 名 うち活動者 12 名</p> <p>②新規マッチング 法人後見サポーター6 件/生活支援員 0 件</p> <p>③派遣回数 法人後見サポーター85 回/生活支援員 30 回</p> <p>(2) 法人後見サポーター養成講座の開催</p> <p>①講義 期間：令和 3 年 10 月 13 日～令和 4 年 3 月 9 日間 計 14 回 受講者数：25 名</p> <p>③ 実務研修/施設見学/専門員同行訪問 期間：令和 3 年 12 月 4 日～令和 4 年 3 月中旬 修了認定者：26 名</p> <p>(3) 成年後見関連事業運営委員会の開催 ①委員 6 名 ②委員会 4 回開催</p> <p>(4) 法人後見サポーター連絡会 全 5 回開催</p> <p>(5) 専門員の育成 各種会議・研修会への参加 4 回</p>				
事業の効果	<p>(1) 法人後見サポーター養成講座を通して、市民へ成年後見制度について理解する場を提供することができた。</p> <p>(2) 法人後見サポーター養成講座を開催し、25 名の方が参加し、19 名の方が修了することができた。次年度は、法人後見サポーターとしての活動を勧めることができる。</p> <p>(3) 新型コロナの影響で活動が中止になったり、施設側から訪問拒否などあり、上手く法人後見サポーターの活動が出来なかったが、新規のマッチングが 6 件できた。</p> <p>(4) 法人後見サポーター連絡会を開催し、法人後見サポーターが活動する中で疑問や課題を話し合う場を設定することができた。</p>				
課題	<p>新型コロナの影響で市民後見人候補者と被後見人とのマッチングが困難となり、2 人目の市民後見人を推薦・選任させる事が出来なかった。コロナ禍におけるマッチングと調整方法の検討が必要。</p>				
事業の評価	A	B	<input checked="" type="checkbox"/>	D	E
備考	※沖縄市からの受託事業。				

事業名 1	(2 5) 高齢者金銭管理等相談事業				
事業名 2					
担当課	権利擁護係				
事業の目的	判断能力が低下したため金銭管理の支援が必要な高齢者等について、相談支援を行い、必要に応じて成年後見制度、日常生活自立支援事業等に繋げ、高齢者の財産や権利を擁護することにより、地域において安心して生活が送れるように支援する。				
事業の内容	<p>(1) 金銭管理に関する相談業務 ※ (件) は実数 相談総数 756 件 / (179 件) <内訳> ①成年後見制度に関する事…33 件 (31 件) ②その他金銭管理等に関する事…660 件 (121 件) ③その他…63 件 (27 件)</p> <p>(2) 成年後見制度勉強会を開催 (会 場 : 沖縄市社会福祉センター) 内 容 : 成年後見制度について ~あなたのかわりに手続きや契約をしてくれる人はいますか~ 講 師 : 沖縄県司法書士会 福原 淳 氏 開催回数 : 全 4 回 ※ 応募者多数のため、回数を増やして実施。 第 1 回 期日 : 令和 3 年 10 月 15 日 参加者 : 19 名 第 2 回 期日 : 令和 3 年 11 月 19 日 参加者 : 23 名 第 3 回 期日 : 令和 3 年 12 月 20 日 参加者 : 13 名 第 4 回 期日 : 令和 4 年 1 月 24 日 参加者 6 名</p> <p>(3) 個別支援会議開催…毎月 1 回 (計 11 回開催) ※ 1 回中止。 (4) 成年後見専門相談 (毎月第 1 木曜日 14 時 ~ 16 時) 相談者合計 17 名 (5) 緊急一時預かり 12 件</p>				
事業の効果	<p>(1) 金銭管理に関する相談業務を通し、高齢者の権利擁護や消費被害等の防止に努めた。 (2) 成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用に繋がるまでの間や緊急を要するケースに対して、専門員が金銭管理支援を応急的に行うことにより、制度や契約締結までの高齢者の在宅生活を支えた。 (3) 成年後見制度勉強会を開催し、成年後見制度や権利擁護の広報啓発を図ることができた。 (4) 昨年度に引き続き、成年後見専門相談という市民や関係者が気軽に相談できる窓口を継続することができた。</p>				
課題	本事業並びに日常生活自立支援事業・成年後見制度の広報啓発。				
事業の評価	A	B	C	D	E
備考	※詳細については、P 5 5 ~ 5 7 の巻末資料⑩に記載。 ※沖縄市からの受託事業。				

事業名 1	(2 6) 日常生活自立支援事業				
事業名 2					
担当課	権利擁護係				
事業の目的	沖縄市内の認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスの利用に関する援助等を行うことにより、地域において自立した生活が送れるよう支援することを目的とする。				
事業の内容	<p>(1) 福祉サービスの利用に関する援助 福祉サービスについての説明、利用・終了手続き、苦情解決制度の利用等を援助する。</p> <p>(2) 日常的金銭管理に関する援助 家賃、公共料金、税金、医療費等の支払い、年金・手当などの受取り、預貯金の出し入れなどを援助する。</p> <p>(3) 書類等の預かりに関するサービス 通帳、印鑑、権利証等の預かりサービスを行う。</p> <p>(4) 日常生活自立支援事業運営委員会の設置、運営</p> <p>(5) 生活支援員研修会及び派遣</p>				
事業の効果	<p>令和 3 年度は、契約者数 6 件、終了件数 7 件、実利用者数は 67 件（令和 4 年 3 月 31 日現在）となった。</p> <p>令和 3 年度は、専門員 2 名と正規職員（兼務）1 名、計 3 名で対応。新規の受け入れが課題であるが、新規の相談に取り組むことができた。</p> <p>利用待機者が増えているため、関係機関との連携により待機解消や代替サービスの検討を行っている。</p>				
課題	事業実施に必要な委託費を確保するための委託先の県社協との調整。事業担当者となる専門員の人材の確保。				
事業の評価	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D	E
備考	<p>※詳細については、P 5 8 の巻末㊹を参照</p> <p>※沖縄県社会福祉協議会からの受託事業。</p>				

3. 巻末資料

巻末資料①

法人運営事業

(1) 正副会長会の開催

第1回正副会長会

期 日：令和3年6月4日 午後2時

場 所：沖縄市社会福祉センター ゆい工房

- 協議題：1. 令和2年度事業実績報告
2. 令和2年度決算報告 <監査報告>
3. 理事及び監事候補者の推薦について
4. 評議員候補者の推薦について
5. 評議員選任・解任委員会委員補充の選任（案）について
6. 評議員選任・解任委員会委員の選任（案）について
7. 事務局規定の改正（案）について
8. 職員給与規定の一部改正（案）について
9. 臨時職員就業規則の一部改正（案）について
10. パートタイマー就業規則の一部改正（案）について
11. 経理規定の一部改正（案）について
12. 福祉サービス苦情解決第3者委員の選任（案）について
13. 役員等賠償補償への加入及びこれに伴う法人の保険料負担（案）について
14. 令和3年度定時評議員会の開催（案）について

第2回正副会長会

期 日：令和4年3月9日 午後2時

場 所：沖縄市社会福祉センター 2階 ゆい工房

- 協議題：1. 令和3年度資金収支二次補正予算（案）について
2. 令和4年度事業計画書（案）について
3. 令和4年度資金収支予算（案）について
4. 給与規程の一部改正（案）について
5. 臨時職員就業規則の一部改定（案）について
6. パートタイマー就業規則の一部改定（案）について
7. 報酬及び費用弁償に関する規程の改正（案）について
8. 就業規則の一部改定及び改正（案）について
9. 第3回評議員会の開催日時、場所及び議事に付すべき事項について

(2) 理事会の開催

第1回理事会

期 日：令和3年6月29日（書面決議）

- 協議題：議案第1号 令和2年度事業実績報告
議案第2号 令和2年度決算報告 <監査報告>
議案第3号 理事及び監事候補者の推薦について
議案第4号 評議員候補者の推薦について
議案第5号 評議員選任・解任委員会委員補充の選任（案）について
議案第6号 評議員選任・解任委員会委員の選任（案）について
議案第7号 事務局規定の改正（案）について
議案第8号 職員給与規定の一部改正（案）について

- 議案第 9 号 臨時職員就業規則の一部改正 (案) について
- 議案第 10 号 パートタイマー就業規則の一部改正 (案) について
- 議案第 11 号 経理規定の一部改正 (案) について
- 議案第 12 号 福祉サービス苦情解決第 3 者委員の選任 (案) について
- 議案第 13 号 役員等賠償補償への加入及びこれに伴う法人の保険料負担について
- 議案第 14 号 令和 3 年度定時評議員会の開催 (案) について

第 2 回理事会

- 期 日：令和 3 年 7 月 28 日 午後 2 時
- 場 所：沖縄商工会議所 中会議室
- 協議題：議案第 1 号 会長、副会長及び常務理事の選定について

第 3 回理事会

- 期 日：令和 3 年 12 月 27 日 午後 2 時
- 場 所：沖縄市社会福祉センター 2 階 集会室
- 協議題：議案第 1 号 令和 3 年度資金収支一次補正予算(案)について
- 議案第 2 号 第 2 回評議員会の開催日時、場所及び議事に付すべき事項について

第 4 回理事会

- 期 日：令和 4 年 3 月 10 日 午前 10 時
- 場 所：沖縄市社会福祉センター 2 階 集会室
- 協議題：議案第 1 号 令和 3 年度資金収支二次補正予算 (案) について
- 議案第 2 号 令和 4 年度事業計画書 (案) について
- 議案第 3 号 令和 4 年度資金収支予算 (案) について
- 議案第 4 号 給与規程の一部改正 (案) について
- 議案第 5 号 パートタイマー就業規則の一部改正 (案) について
- 議案第 6 号 臨時職員就業規則の一部改定 (案) について
- 議案第 7 号 パートタイマー就業規則の一部改定 (案) について
- 議案第 8 号 報酬及び費用弁償に関する規程の改正 (案) について
- 議案第 9 号 就業規則の一部改定及び改正 (案) について
- 議案第 10 号 役員等賠償補償への加入及びこれに伴う法人の保険料負担 (案) について
- 議案第 11 号 第 3 回評議員会の開催日時、場所及び議事に付すべき事項について

(3) 評議員会の開催

令和 3 年度定時評議員会 (決議の省略による開催)

- 期 日：令和 3 年 7 月 15 日 書面による決議
- 協議題：議案第 1 号 令和 2 年度事業実績報告について
- 議案第 2 号 令和 2 年度決算報告について (監査報告書添付)
- 議案第 3 号 役員 (理事・監事) の選任 (案) について

第 2 回評議員会 (決議の省略による開催)

- 期 日：令和 4 年 1 月 25 日 書面による決議
- 協議題：議案第 1 号 令和 3 年度資金収支一次補正予算 (案) について

第 3 回評議員会

- 期 日：令和 4 年 3 月 28 日 午後 2 時
- 場 所：沖縄市福祉文化プラザ 交流ホール
- 協議題：議案第 1 号 令和 3 年度資金収支二次補正予算 (案) について
- 議案第 2 号 令和 4 年度事業計画書 (案) について
- 議案第 3 号 令和 4 年度資金収支予算 (案) について

(4) 監査の実施

顧問税理士監査

期 日：令和3年5月19日 午前10時
 場 所：沖縄市社会福祉協議会事務所内
 出席者：税理士2名、会長、事務局長、職員1名

法人（監事）監査

期 日：令和3年5月24日 午後1時30分
 場 所：沖縄市社会福祉協議会事務所内
 出席者：監事2名、会長、事務局長、職員7名

(5) 職員の研修参加状況

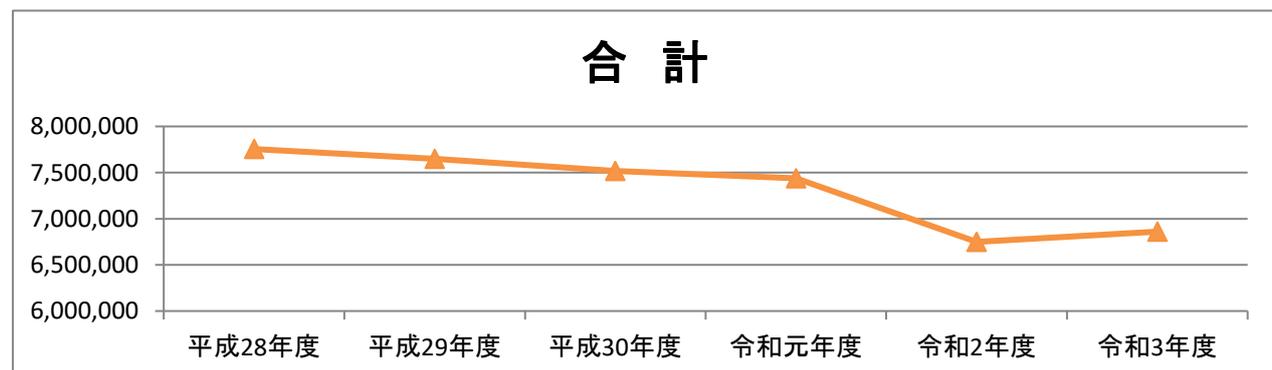
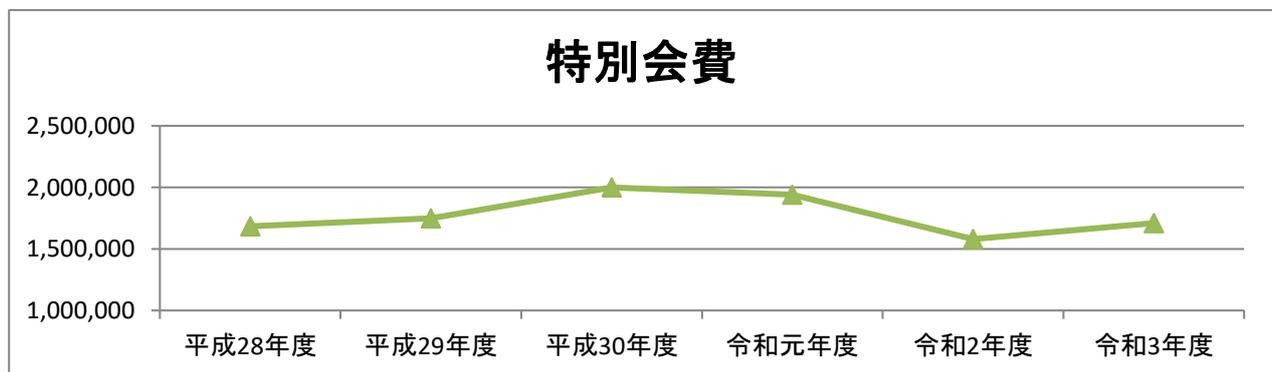
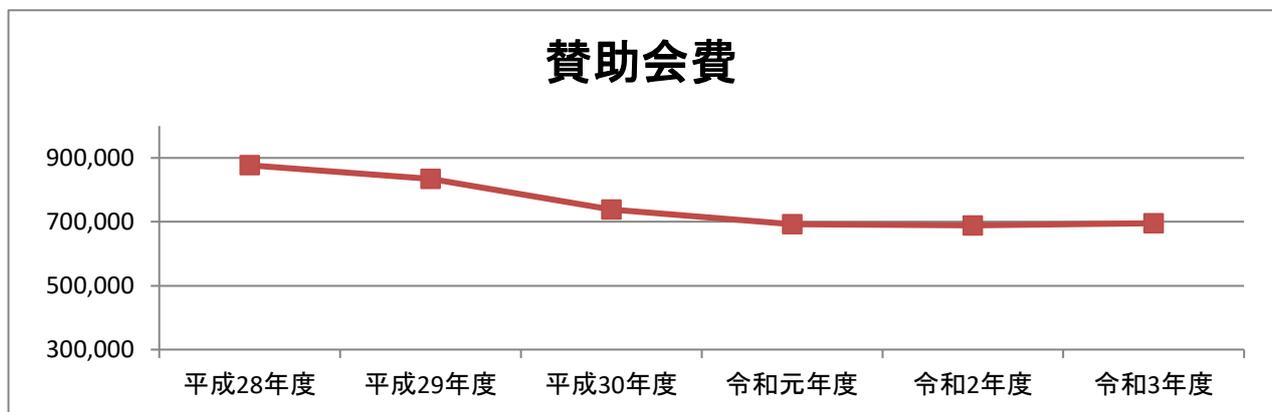
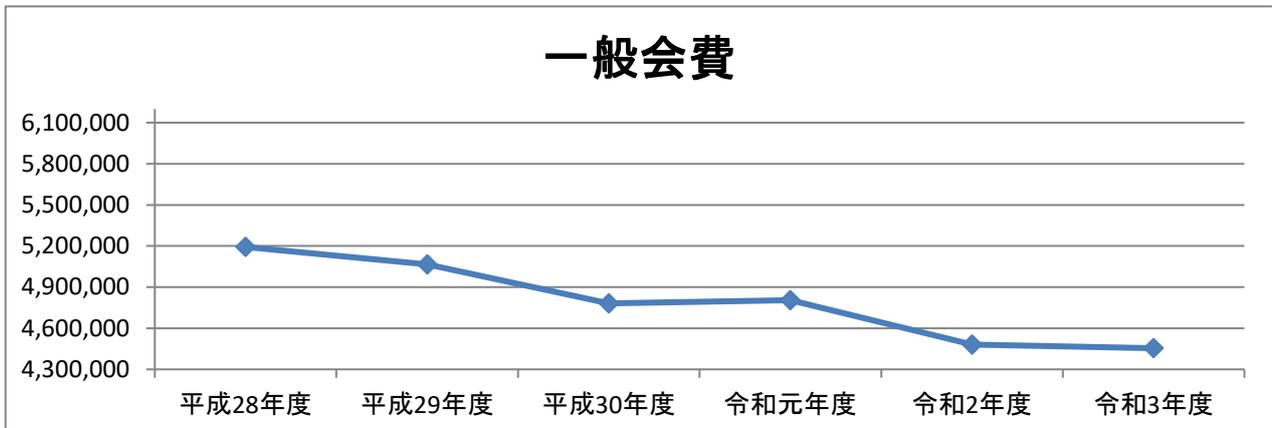
日程	内容	場所	参加者
7月20日	生活福祉資金初任者研修会	オンライン	1名
7月20日	生活福祉資金現任者研修会	オンライン	3名
7月21日	ADI 減災カフェ	オンライン	2名
7月27日	市町村における包括的な支援体制づくり推進会議	オンライン	2名
8月6日	総務関連人材育成研修【会計入門編】	オンライン	1名
8月27日	共同募金会初任・現任者研修会	オンライン	4名
8月30日	社会福祉法人の経営力強化～法人経営と働き方改革～『計算書類活用法』と『労務管理で人材確保』	オンライン	1名
8月30日	日常生活自立支援事業専門員連絡会	オンライン	4名
9月3日	成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務	オンライン	1名
9月14日	災害時における外部支援の受援計画策定に関する研修会	オンライン	2名
9月15日	自治体の福祉防災における民間活力の導入と受援の進め方	オンライン	1名
9月27日	日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅰ	オンライン	1名
9月30日	福祉サービスに関する苦情解決セミナー	オンライン	1名
10月6日	日常生活自立支援事業専門員連絡会	オンライン	2名
10月7日	日常生活自立支援事業専門員連絡会	オンライン	2名
11月29日 30日	生活支援員研修会	オンライン 沖縄市社会福祉協議会	19名

日程	内容	場所	参加者
10月29日	コミュニティソーシャルワークとファンドレイジング 基礎研修①	オンライン	2名
11月5日	コミュニティソーシャルワークとファンドレイジング 基礎研修②	オンライン	2名
11月6日	北谷町美浜地区防災資機材展示見学会	北谷町美浜	1名
11月7日	北谷町宮城地区防災資機材展示見学会	北谷町宮城	1名
11月18日	中社連庶務部会 労務管理業務勉強会	浦添市社会福祉協議会	1名
11月19日	全国年金委員研修	オンライン	1名
11月22日	災害時相互応援協定に基づく市町村社協事務局長 オンライン会議	オンライン	1名
11月22日	災害ボランティアセンター運営者研修会	オンライン	2名
11月25日	第23回 都市防災推進セミナー	オンライン	1名
11月26日	市町村社協法人経営・組織基盤強化推進セミナー	オンライン	1名
12月20日	なは防災キャンプ'21 秋シンポジウム	なは市民活動支援センター	1名
12月21日	生活福祉資金特例貸付における債権管理に関する 説明会	オンライン	5名
1月24日	日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅱ	オンライン	1名
1月25日	日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅱ	オンライン	1名
2月1日	障害者差別に関する相談員研修	オンライン	3名
2月3日	日常生活自立支援事業実践研究協議会	オンライン	3名
2月7日	コミュニティソーシャルワークとファンドレイジング 基礎研修①	オンライン	3名
2月9日	市町村社協常務理事・事務局長会議	オンライン	1名
2月14日	コミュニティソーシャルワークとファンドレイジング 基礎研修②	オンライン	3名
2月25日	重層的体制整備事業研修	オンライン	1名
3月4日	THANKS (サンクス) 運動推進セミナー	オンライン	1名
3月17日	社協における法人後見推進勉強会	オンライン	2名
3月29日	日常生活自立支援事業権利擁護推進セミナー	オンライン	3名

巻末資料②

社協会費 会費種別実績の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般会費	5,192,860	5,065,147	4,780,900	4,805,000	4,480,319	4,454,384
賛助会費	877,000	834,000	738,000	692,900	688,890	695,500
特別会費	1,685,000	1,750,000	2,000,000	1,940,000	1,580,000	1,710,000
合計	7,754,860	7,649,147	7,518,900	7,437,900	6,749,209	6,859,884



巻末資料③

令和3年度 沖縄市社会福祉協議会団体助成事業

	団体名	事業名	助成額	内容
1	沖縄市老人クラブ連合会	1 友愛訪問活動	275,500	友愛訪問にかかる活動費(29クラブ)※2クラブは返金
2	沖縄市更生保護女性会	2 沖縄市更生保護女性会活動費	50,000	施設訪問、パトロール
3	沖縄市自治会長協議会	3 自治会長研修会	285,000	研修費
4	沖縄市民生委員児童委員協議会	4 民生委員児童委員研修大会	475,000	研修費
		5 民生委員児童委員見守り活動事業	285,000	民児協費
5	沖縄市女性連合会	6 育成指導推奨事業	237,500	活動費、広報費、研修費
6	沖縄市手をつなぐ育成会	7 沖縄市手をつなぐ育成会	105,000	活動費、地域交流費、本人活動費、部会活動費※返金あり(130,000円)
7	手の会 手話サークル	8 サークル活動(手話学習及び普及・交流)	47,500	活動費(学習会・講演会・交流会)
8	沖縄市青少年育成市民会議	9 広報誌作成事業	95,000	広報費
9	沖縄市市民憲章推進協議会	10 児童生徒作文集PR事業	50,000	児童生徒作文集PR費
10	沖縄市子ども育成連絡協議会	11 オンラインデジタル伝承民話紙芝居劇場2021	50,000	講師料、しまくとぅば指導、芝居演技指導
11	各自治会	12 地域福祉活動費	421,000	戸別募金額(赤い羽根共同募金)の1割
合 計			2,376,500	※コロナの影響での事業縮小による一部返金あり

申請取り下げ 3件

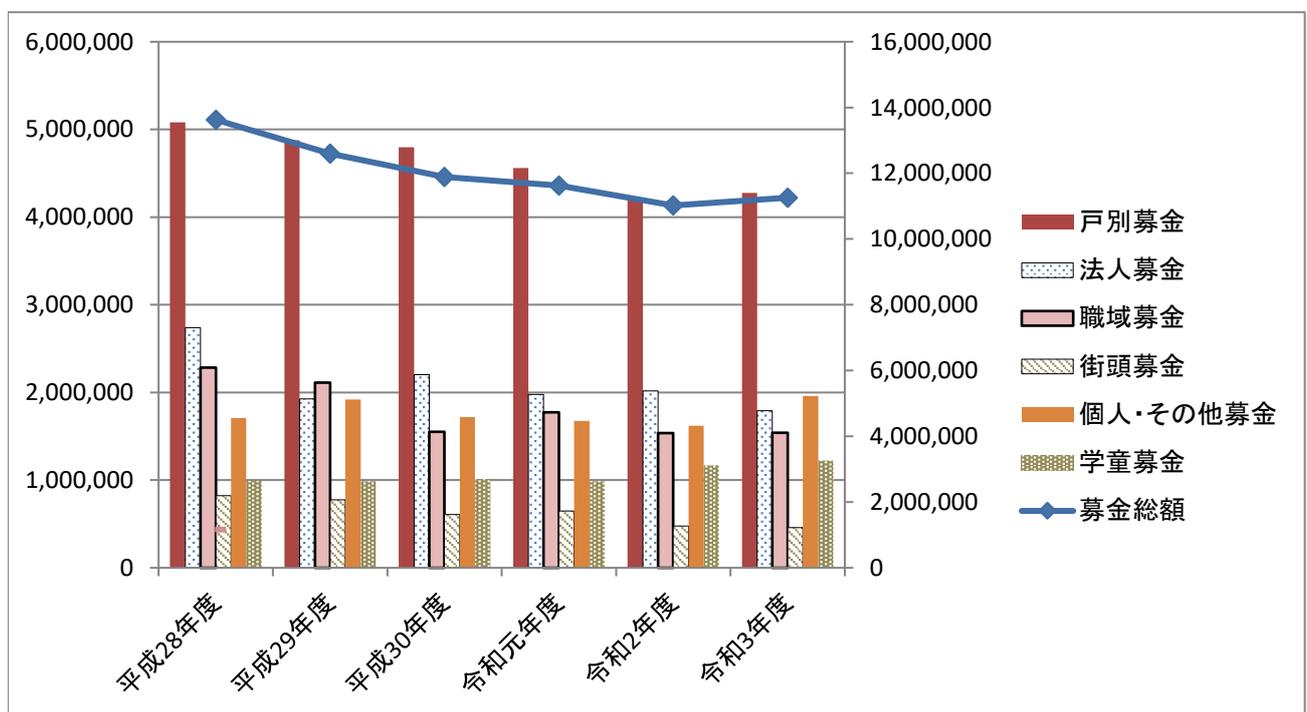
巻末資料④

赤い羽根共同募金 募金種別実績と前年度比較

募金種別	令和3年度	令和3年度	前年度			令和3年度
	募金目標額	募金実績額	募金実績額	増減額	比率	達成率
戸別募金	5,139,000	4,277,240	4,200,550	76,690	101.8%	83.2%
法人募金	2,895,000	1,792,450	2,018,724	-226,274	88.8%	61.9%
職域募金	2,486,000	1,541,421	1,535,853	5,568	100.4%	62.0%
街頭募金	730,000	458,052	475,355	-17,303	96.4%	62.7%
個人・その他募金	1,803,000	1,960,490	1,621,881	338,609	120.9%	108.7%
学童募金	福祉教育の一環で進めており目標を設定していません。	1,223,487	1,168,144	55,343	104.7%	
計	13,053,000	11,253,140	11,020,507	232,633	102.1%	86.2%

赤い羽根共同募金 募金種別実績の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
募金総額	13,626,700	12,594,922	11,886,244	11,620,858	11,020,507	11,253,140
戸別募金	5,081,109	4,875,461	4,795,518	4,561,480	4,200,550	4,277,240
法人募金	2,740,000	1,927,800	2,203,251	1,976,250	2,018,724	1,792,450
職域募金	2,282,974	2,112,721	1,549,609	1,774,194	1,535,853	1,541,421
街頭募金	824,329	773,725	606,236	647,665	475,355	458,052
個人・その他募金	1,708,880	1,920,033	1,717,713	1,675,388	1,621,881	1,960,490
学童募金	989,408	985,182	1,013,917	985,881	1,168,144	1,223,487



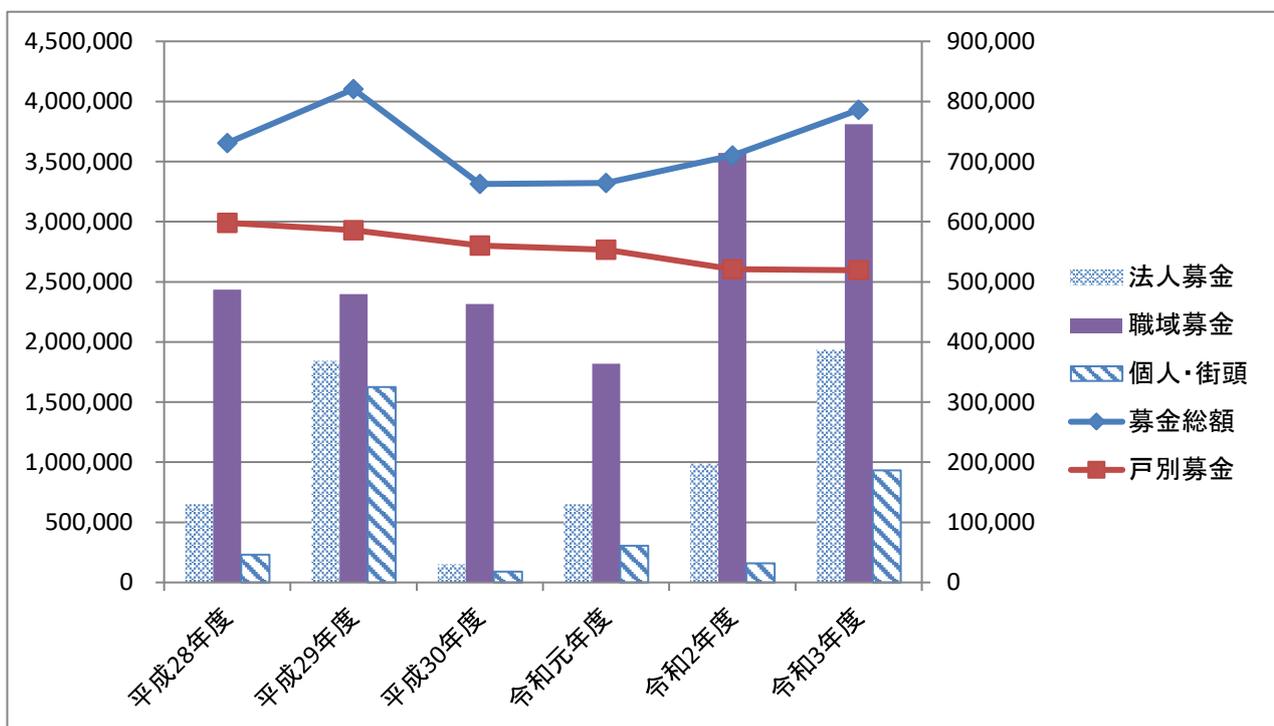
巻末資料⑤

歳末たすけあい募金 募金種別実績と前年度比較

募金種別	令和3年度	令和3年度	前年度			令和3年度
	目標額	募金実績額	募金実績額	増減額	比率	達成率
戸別募金	3,000,000	2,596,127	2,606,200	-10,073	99.6%	86.5%
法人募金	400,000	387,100	197,800	189,300	195.7%	96.8%
職域募金	600,000	762,235	714,500	47,735	106.7%	127.0%
個人・街頭	100,000	186,205	31,658	154,547	588.2%	186.2%
小計	4,100,000	3,931,667	3,550,158	381,509	110.7%	95.9%

歳末たすけあい募金 募金種別実績の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
募金総額	3,654,108	4,102,627	3,313,281	3,323,272	3,550,158	3,931,667
戸別募金	2,990,881	2,929,640	2,802,200	2,768,400	2,606,200	2,596,127
法人募金	130,000	368,400	30,000	130,000	197,800	387,100
職域募金	487,141	479,706	462,931	363,872	714,500	762,235
個人・街頭	46,086	324,881	18,150	61,000	31,658	186,205



巻末資料⑥

■地域見守り活動協定事業所■

1. 沖縄ヤクルト沖縄南センター（沖縄市南桃原在）
2. 沖縄ヤクルト沖縄知花センター（沖縄市知花在）
3. 沖縄ヤクルト沖縄泡瀬センター（沖縄市泡瀬在）
4. 沖縄ヤクルト沖縄コザセンター（沖縄市安慶田在）
5. 沖縄タイムス沖縄市販売店主会（市内各販売店）
6. 琉球新報コザ販売店会（市内各販売店）
7. 琉球新報美里販売店会（市内各販売店）
8. ダスキンサーヴ九州美里支店（沖縄市美里在）
9. 沖縄県中部宅地建物取引業者会（市内各不動産事業所）
10. 沖縄郵便局（沖縄市胡屋在）
11. 沖縄美里郵便局（沖縄市東在）
12. JA 沖縄コザ支店（沖縄市上地在）
13. JA 沖縄美里支店（沖縄市美里在）
14. 生活協同組合コープおきなわ
15. 株式会社まなざし（沖縄市室川在）
16. 株式会社FMコザ（沖縄市中央在）
17. 沖縄ラジオ株式会社（沖縄市上地在）
18. 第一交通グループ オリオン第一交通株式会社（沖縄市美里在）
19. コザ信用金庫（沖縄市上地）
20. デイサービスセンターシオン（沖縄市山内在）
21. 沖縄ハンズオンNPO（沖縄市宮里在）
22. 沖縄市PTA連合会（沖縄市センター在）
23. 琉球治療院（沖縄市古謝在）
24. 介護支援専門員沖縄市支部（沖縄市与儀在）
25. かりゆしシニアクラブ（沖縄市知花在）
26. 補聴器のぴあ（沖縄市美原在）
27. 法人デルソール（沖縄市泡瀬在）
28. アイデン（沖縄市登川在）
29. 株式会社 サンレー（沖縄市松本在）
30. NPO法人友志企画（沖縄市知花在）
31. 明治安田生命沖縄市支社（沖縄市住吉在）
32. 33. 34. 沖縄銀行（美里支店、コザ支店、山内支店）

令和3年度アウトリーチ相談報告書

2021年4月～2022年3月迄

相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	29	32	32	28	38	27	36	39	30	28	29	17	365
延べ	61	139	107	118	127	76	149	144	113	102	93	39	1268

利用状況（男女別）

	男	女	関係者	他	累計		架電	受電	来所	訪問	他	累計
小計	127	207	26	5	365	小計	13	268	24	4	56	365
%	35%	57%	7%	1%	100%	%	4%	73%	7%	1%	15%	100%

利用状況（依頼者）

	本人	家族親族	知人隣人	関係機関	企業	社協	地域	その他	累計
小計	252	28	10	53	1	9	8	4	365
%	69%	8%	3%	15%	0%	2%	2%	1%	100%

相談分野（重複あり）

	生活困窮	仕事	家庭	離婚	子育て	認知	介護	障がい	健康	不安感	DV	近隣問題
小計	101	40	70	12	18	5	35	64	37	127	14	17
%	10%	4%	7%	1%	2%	1%	4%	6%	4%	13%	1%	2%

	不動産	医療費	法律	住まい	金銭	見守り	支援	LGBT		その他	累計
小計	24	15	80	56	49	21	48	3		161	997
%	2%	2%	8%	6%	5%	2%	5%	0%		16%	100%

対応状況

	継続	継続・連携	完了・連携	完了	累計
小計	13	150	134	68	365
%	4%	41%	37%	19%	100%

かけはし無料法律相談（毎月第三木曜日）14：00～15：00 ※40分×3件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
小計	3	2	0	1	2	3	3	3	3	2	2	2	26



Home >> お知らせ, ボランティアの募集, 沖縄市ボランティア



沖縄市ボランティアセンター公式LINEを開設しました!

お知らせ, ボランティアの募集, 沖縄市ボランティアセンターからのお知らせ -

2022/04/26 07:20

沖縄市ボランティアセンターでは、
“ボランティアをしたい方”と“ボランティアをしてほしい方”の橋渡しやバックアップを行なっています。
「ボランティアを始めてみたい!」「ボランティア活動をしたい!」と考えている方へ
さまざまなボランティア活動をLINEを通して紹介していきます。
下記QRコードより、お友達追加できます。よろしくお願ひします(^^)/



お知らせ, ボランティアの募集, 沖縄市ボランティアセンターからのお知らせ — kamiyama
2022/04/26 07:20

<< 【市内福祉・介護従事者の方

正規職員使用候補者選考試験の募



検索

特別会員 [すべて見る](#)





お助け会員 募集!!

「ちょっとしたお困りごと」のある方に対して、地域の方々（社協会員）がお手伝いする“地域助け合い活動”です！

生活援助



- ◆ 電球の取り換え
- ◆ 簡単な修繕大工
- ◆ 家具の移動
- ◆ お掃除（拭き・掃き）
- ◆ お部屋の整理整頓
- ◆ 草刈り・草取り
- ◆ お花の水やり
- ◆ ゴミ出し



介助の手助け



- ◆ 病院の付き添い
- ◆ 見守り・ゆんたく
- ◆ お散歩・外出支援

代行



- ◆ お買い物



活動費

1回 1時間 600円

その他

- ◆ 活動者は保険加入いたします。（保険料は社協負担）
- ◆ 社協賛助会員であれば資格・経験は問いません！

連絡先 沖縄市社会福祉協議会 地域福祉推進課

電話 937-3385

ちゅいしいじい（助け合い・支え合い）の地域づくり

巻末資料⑩

法人後見受任事業実績報告書

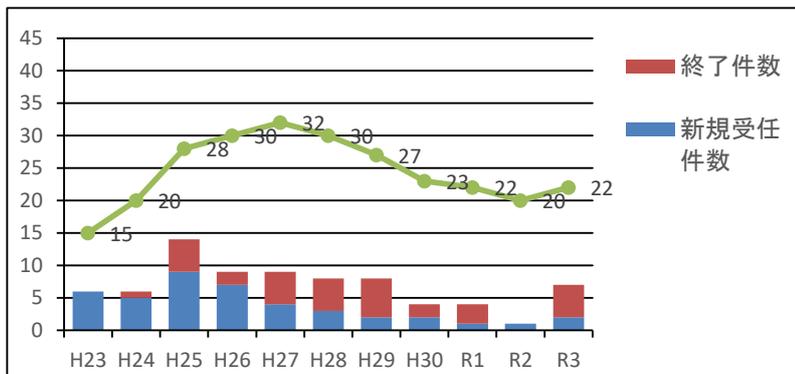
1. 受任状況

①受任件数の推移

審判年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
新規受任件数	6	5	9	7	4	3	2	2	1	1	2
終了件数	0	1	5	2	5	5	6	2	3	0	5
受任支援件数	15	20	28	30	32	30	27	23	22	20	22

②新規受任状況(障がい等別)

高齢	2
精神障がい	0
知的障がい	0
計	2



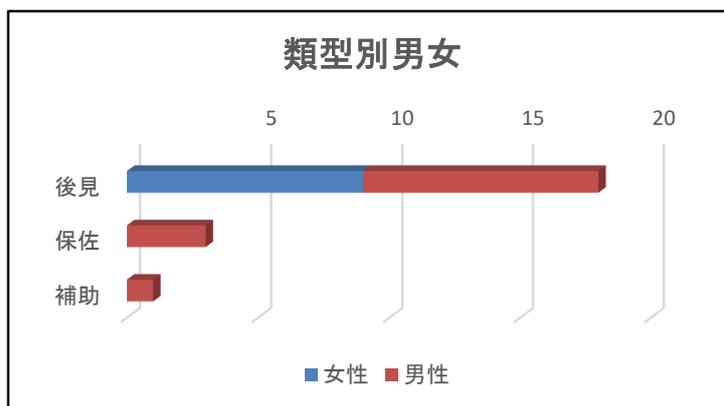
③新規受任状況(類型別)

類型	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
後見	6	4	7	6	4	3	1	2	1	1	1
保佐	0	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0
補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	6	5	9	7	4	3	2	2	1	1	2

2. 被後見人等の状況

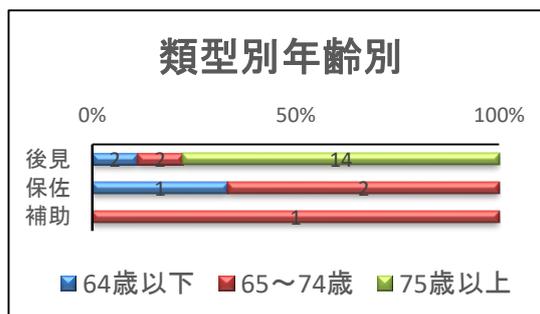
①類型×性別

	女性	男性	計
後見	9	9	18
保佐		3	3
補助		1	1
計	9	13	22



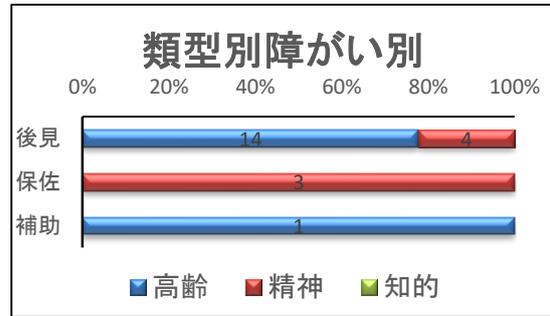
②類型×年齢

	64歳以下	65～74歳	75歳以上	計
後見	2	2	14	18
保佐	1	2		3
補助		1		1
計	3	5	14	22



③類型×障がい等

	高齢	精神	知的	計
後見	14	4		18
保佐		3		3
補助	1			1
計	15	7	0	22

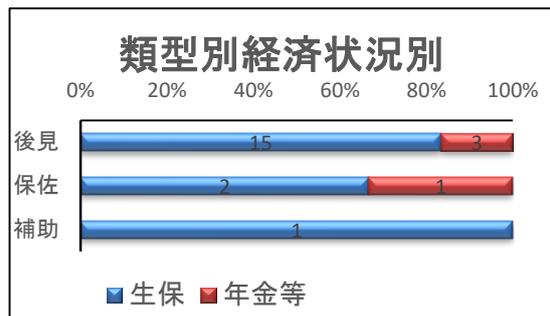


④申立×障がい等

	後見				保佐				補助				総計
	高齢	精神	知的	計	高齢	精神	知的	計	高齢	精神	知的	計	
市長	12	2		14		1		1				0	15
親族	1	1		2				0	1			1	3
後見人	1	1		2		2		2				0	4
計	14	4	0	18	0	3	0	3	1	0	0	1	22

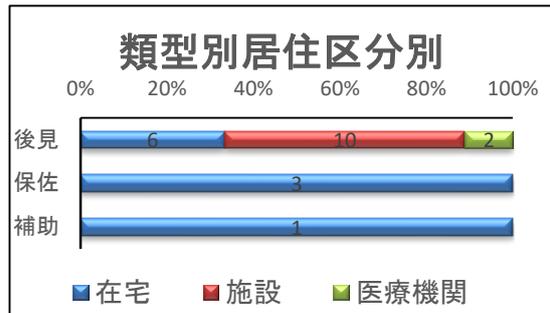
⑤類型×経済状況

	生保	年金等	計
後見	15	3	18
保佐	2	1	3
補助	1		1
計	18	4	22



⑥類型×居住区分別

	在宅	施設	医療機関	GH	その他	計
後見	6	10	2			18
保佐	3					3
補助	1					1
計	10	10	2	0	0	22



II. 後見活動状況

1. 業務内容

業務内容	件数
本人・関係者の報告、状況確認、調整	437
ご本人面会	397
入院・医療に関すること	290
金融機関取引事務手続き	193
福祉サービス利用に関する支払い・確認	167
生活費等の受け渡し	163
その他	114
福祉サービス利用の更新・変更	108
福祉サービス利用に関する契約・申込み	101
親族との調整・報告等	81
住居に関すること	55
外出支援、買い物支援	55
福祉サービス以外の支払い・確認	42
年金・手当・保険等に関すること	40

業務内容	件数
遺産相続に関すること	39
債務整理に関すること	29
福祉サービス以外に関する契約・申込み	26
家庭裁判所への事務報告・手続き	20
担当者会議	18
後見監督業務に関すること	13
業務終了後の事務	10
土地・不動産に関すること	9
保険料等の支払いに関すること	7
合計	2414

2.夜間・休日対応状況

①対応件数

時間帯	休日	休日夜間	平日夜間	計
件数	7	2	3	12

②内容等

業務内容	件数
本人・関係者の報告、状況確認、調整	3
入院・医療に関すること	3
その他	3
親族との調整・報告等	3
ご本人面会	1
業務終了後の事務	1
生活費等の受け渡し	1
合計	15

巻末資料⑪

高齢者金銭管理等相談事業

1. 相談件数

内 訳		延件数	実件数
成年後見制度 について	親族申立に関する支援	6	6
	市長申立に関する支援	8	12
	親族後見人に対する支援	0	1
	任意後見人に対する支援	0	0
	その他	12	6
日常生活自立支援事業の利用支援		7	6
その他金銭管理に関する相談		660	121
不明		11	5
その他		52	22
計		756	179

2. 相談者年齢／性別

年 齢	男性	女性
①64歳以下	7	4
②65～74歳	33	18
③75～84歳	41	17
④85歳以上	7	20
不明	5	1
計	93	60

3. 相談方法

方 法	件数
①電話	444
②来所	12
③訪問・面接	263
④ケース会議等	10
⑤その他	15
計	744

4. 支援内容

内 容	件数
①状況確認	142
②関係者との調整	124
③業務調整	3
④金融機関手続き	51
⑤家計管理	1
⑥支払い支援	98
⑦年金/保険等に関する支援	9
⑧本人対応	321
⑨その他	26
⑩成年後見制度に関する支援	12
合計	787

5. 相談経路別件数

相談経路	件数
①要支援高齢者本人	453
②同居親族	8
③別居親族	11
④友人・知人	1
⑤基幹型包括支援センター	7
⑥地域包括支援センター	0
⑦居宅介護支援事業所	62
⑧行政機関	28
⑨障害者相談支援事業所	0
⑩医療機関	8
⑪入所施設	2
⑫介護関連事業所	9
⑬その他	29
計	618

6. 個別支援会議開催状況

開催日	曜日	時間	場所	参加者
5月13日	木	10:00~11:00	市役所	介護福祉課：名嘉村氏、渡久地氏 社協：神山、伊藝
6月9日	水	10:00~12:00	市役所	介護福祉課：丸尾氏、名嘉村氏 社協：神山、伊藝
7月14日	水	10:00~11:00	市役所	介護保険課：名嘉村氏、渡久地氏、 社協：伊藝
8月11日	水	10:00~12:00	市役所	介護保険課：丸尾氏、名嘉村氏、渡久地 氏、社協：神山、伊藝
9月8日	水	10:00~11:00	市役所	介護保険課：名嘉村氏、渡久地氏、 社協：神山、伊藝
10月13日	水	10:00~12:00	市役所	介護保険課：名嘉村氏、渡久地氏、 社協：神山、伊藝
11月10日	水	10:00~12:00	市役所	介護保険課：名嘉村氏、渡久地氏、 社協：神山、伊藝
12月8日	水	10:00~12:00	市役所	介護保険課：名嘉村氏、渡久地氏、 社協：神山、伊藝
1月12日	水	10:00~11:00	Web会議	介護保険課：名嘉村氏、トウヤマ氏、 社協：神山、伊藝
2月9日	水	10:00~12:00	社協	介護保険課：名嘉村氏、渡久地氏、 社協：神山、伊藝
3月9日	木	10:00~12:00	Web会議	介護保険課：名嘉村氏、渡久地氏、 社協：神山、伊藝
毎月の相談業務状況及び本事業周知活動について報告し、情報共有を図る。 特に気になるケースについては相談を行い、支援内容、今後の支援のあり方等について 検討・協議し、共通確認をする。				

7. 広報啓発活動状況

開催日	曜日	時間	場所	内容
6月24日	木	9:40~9:50	FMコザ	本事業、勉強会について案内

8. 令和3年度 沖縄市成年後見制度勉強会の開催（同テーマ全4回）

テ ー マ	成年後見制度について ～あなたのかわりに手続きや契約を してくれる人はいますか～
日 時	2021年10月15日（金）
会 場	沖縄市社会福祉センター2階 集会室
参加対象	成年後見制度に興味のある方
参加人数	19人／定員25人
講師	福原 淳氏（司法書士）

日 時	2021年11月19日（金）
会 場	沖縄市社会福祉センター2階 集会室
参加対象	成年後見制度に興味のある方
参加人数	23人／定員25人
講 師	福原 淳氏（司法書士）

日 時	2021年12月20日（月）
会 場	沖縄市社会福祉センター2階 集会室
参加対象	成年後見制度に興味のある方
参加人数	13人／定員25人
講 師	福原 淳氏（司法書士）

日 時	2022年1月24日（月）
会 場	沖縄市社会福祉センター2階 集会室
参加対象	成年後見制度に興味のある方
参加人数	6人／定員25人
講 師	福原 淳氏（司法書士）

9. 成年後見専門相談

回	日時	会場	相談員	利用者
1	4月1日	沖縄市社会福祉センター	比嘉 孝明氏（税理士）	1
2	5月6日	沖縄市社会福祉センター	笹木 徳人氏（精神保健福祉士）	2
3	6月3日	沖縄市社会福祉センター	當眞 正姫氏（弁護士）	1
4	7月1日	沖縄市社会福祉センター	福原 淳氏（司法書士）	2
5	8月5日	沖縄市社会福祉センター	竹藤 登氏（社会福祉士）	2
6	9月2日	沖縄市社会福祉センター	當眞 正姫氏（弁護士）	1
7	10月7日	沖縄市社会福祉センター	比嘉 孝明氏（税理士）	1
8	11月4日	沖縄市社会福祉センター	當眞 正姫氏（弁護士）	2
9	12月2日	沖縄市社会福祉センター	福原 淳氏（司法書士）	1
10	1月6日	沖縄市社会福祉センター	竹藤 登氏（社会福祉士）	1
11	2月10日	沖縄市社会福祉センター	比嘉 孝明氏（税理士）	1
12	3月10日	沖縄市社会福祉センター	石川 淳氏（精神保健福祉士）	2
			利用者計	17

各：定員3名

10. 緊急一時預かり 依頼件数 12件

日常生活自立支援事業実施状況

令和3年度累計

都道府県・
指定都市社協名

沖縄市

社会福祉協議会

令和3年4月1日～令和4年3月31日

1 相談援助件数累計(問い合わせ・相談援助件数)

内 容 事 項	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
	対象者 認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不 明・ その他		
a. 問合せ件数 (制度、事業について)	10	1	7	8	0	26
b. 初回相談件数 (初回相談受付)	10	3	12	5		30
c. 相談援助件数 (ab以外)	445	776	1,253	68		2,542
合 計	465	780	1,272	81	0	2,598

(注) 本事業においては対象としない身体のみ障害がある者等は記入しないこと。

2 新規契約締結件数累計

事 項	対象者 認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	生活保護 (再掲)	合 計
契 約 者 数	1		4	1	5	6

(注) 生活保護の欄には契約締結件数のうち生活保護利用による利用料免除の件数を記入すること。

3 解約件数累計

事 項	対象者 認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合 計
終 了 件 数	3	1	3	0	7

解約件数累計の内訳(合計7件)

事 項	自己管理	死亡	施設引継	親族引継	成年後見制 度へ引継	基幹的社協 からの解約	転居
契 約 者 数	1	1	1	0	4	0	0

4 現在の実利用人数(3月末日現在) ※()内は生活保護人数

事 項	対象者 認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合 計
実 利 用 人 数	10(9)	23(10)	32(30)	2(2)	67(51)

市民からの「コロナ陽性者へのフードバンク事業」についてのメール

-----Original Message-----

Sent: Monday, May 16, 2022 8:44 PM

差出人：

メールアドレス：

ご連絡先：

件名： コロナ陽性者へのフードバンク事業についてのお礼

メッセージ本文：

こんばんは。

お礼を申し上げたくてメールいたしました。

本日、次男がコロナ陽性者となり、私も長男も職場から出勤停止命令が出ました(長女は高校生なので出校停止)給料日までまだまだということもあり、朝・昼・晩の食料はどうしよう…というのが頭をよぎりました。

お恥ずかしい限りですが、やはり子供がコロナ陽性者となり体調の不安や心配もありますが、それよりも自宅療養中の食料をどうすべきかを一番に考えてしまいました。

ですが前にネットで見かけた沖縄市社会福祉協議会のフードバンクが真っ先に思い浮かび、ダメもとでも問い合わせしてみようと電話をかけてみると、とても丁寧に優しく応えてくれました。涙が出るほど嬉しかったです。食料のストックがないと伝えるとすぐに持ってきてくれるとのことのお返事。

しばらくして連絡があり、家のドアを開けるとお二人の職員さんと(離れた場所に居ました)たくさんの食料品がありました。

不安だった気持ちが和らぎ、家で泣きました。本当に本当にありがとうございます。給料日を迎えても殆どを支払いにまわすので、私たちが一番に節約するのは食費です。私の手作り料理で子供たちをお腹いっぱい食べさせたことなんて数えられるくらいしかありません。

私はひとり親世帯で実家にも事情があり、頼ることも出来ません。今回も社協には感謝しかありません。いつも優しく丁寧に対応していただき、ありがとうございます。

自宅療養の間、大切に美味しくいただきます。この度は本当にありがとうございました。長々と失礼いたしました。

--

このメールは オキ City シャキョー.com | 社会福祉法人 沖縄市社会福祉協議会
<http://okicityshakyo.com> のお問い合わせフォームから送信されました